SHARP

取扱説明書

パーソナルコンピュータ

PC-FS2-C3

シリーズ

Mebius

安全にお使いいただくために

図記号について

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味（図記号の一例です）

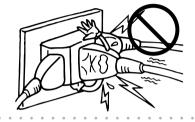
記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

電源は AC100V のコンセントを使用する。
それ以外の電源で使用すると、火災の原因になります。

電源コードのプラグは、直接コンセントに接続する。
タコ足配線は過熱し、火災の原因になります。

お客様による分解や修理・改造はしない。
故障したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店に修理を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしない。
また重い物を載せたり、引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため火災・感電の原因になります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリパックを取り外してください。その後、お買いあげの販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

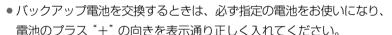
本機を持ち運ぶ際は、しっかりと持ち、落とさないようにする。
落とすと足をけがすることがあります。

電源コードは、電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

夜間など長時間使用しないときは、安全のために必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

バッテリパックやバックアップ電池は誤った使い方をすると破裂や発火の原因になります。また、ショートして過熱したり他のものを傷つけることがあります。次のことを必ずお守りください。

- 金属小物（鍵、装飾品など）といっしょにポケットやカバンなどに入れないでください。
- 端子をショートさせないでください。
- 火の中に入れないでください。
- 分解しないでください。

- バックアップ電池を交換するときは、必ず指定の電池をお使いになり、電池のプラス“＋”の向きを表示通り正しく入れてください。

この商品に使用しているバックアップ電池を取り外した場合は、小さなお子様が電池を過って飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

ぬれた手で使用したり、まわりに水など液体の入った容器を置かないでください。
中に水が入ると、火災・感電の原因となることがあります。

本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。
落ちたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

目の健康のために、次のことを必ずお守りください。

- 連続して長時間使用される場合は、1 時間ごとに 10 ～ 15 分休憩し、目を休ませてください。
- 操作する場所の明るさは、新聞が楽に読める程度（約500ルクス）が適切です。明暗の差が大きいところでは使用しないでください。
- 戸外の光や照明が画面に反射して見えるところでは、使用しないでください。
- ディスプレイは、目の高さよりやや低く、目から 40 ～ 60cm 離して使用してください。

長時間にわたり本機底面をひざの上などに直接触れて使用しない。

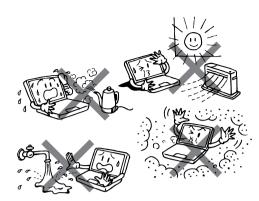
低温やけどをおこす恐れがあります。

お願い

設置するときのお願い

本機を次のようなところには設置しないでください。

変色・変形・故障の原因になります。

- **直射日光の当たるところや暖房器具の近く**
- **温度が非常に高いところや低いところ**
- **湿度が高いところ**
- **ほこりの多いところ**
- **水などの液体がかかるところ**
- **振動や衝撃などを受けるところ**

通風孔をふさがないでください。

本機をじゅうたんや布団の上に置いたり、周りに物を置いたりして、通風孔をふさいで放熱を妨げないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因になります。

お使いになるときのお願い

本機の上に重い物をのせたり、押さえ付けたりしないでください。

破損・故障の原因になります。

本機を強くたたいたり、落としたり、裏向けたりして衝撃を与えないでください。

本体およびハードディスクの故障の原因になります。

ディスプレイは傷が付きやすいので、先のとがったもの(シャープペンシル、ボールペンなど)でディスプレイ表面をたたいたり、ひっかいたりしないでください。

雷が鳴り始めたら電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、モデムケーブルを本機から抜いてください。

落雷によって本機が破壊される恐れがあります。

ハードディスクが故障したり、データが消失した場合に備えて、重要なデータは定期的に CD-R/RW やフロッピーディスクなどに保存しておいてください。

お願い

持ち運ぶときのお願い

本機を持ち運ぶときは、次の注意を守ってください。

データが失われたり、ハードディスクの故障の原因になります。

- **フロッピーディスクや CD などのディスクをドライブから出す**
- **電源を切る**
- **本機に接続されている周辺機器やケーブル類はすべて取り外す**
- **衝撃を与えない**
- **ディスプレイを持たない**

10℃以上の温度差がある場所へ急に移動しないでください。

温度が急激に変化するとデータの読み書きが正常に行われない場合があります。

また、温度の低い場所から高い場所に急に移動すると、本体内部に結露が発生します。その場合は、電源を入れずに約 1 時間放置して、露（水滴）が完全に乾いてから、ご使用ください。

TFT カラー液晶パネルについて

TFTカラー液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

電波障害に関するお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときには、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分離してご使用ください。
- この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

コピーコントロール CD に関するご注意

このパソコンは、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準拠していない「コピーコントロールCD」などについて動作や音質を保証できません。通常のCDの再生時には支障がなく、上記の特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細については、ディスクの発売元へお問い合わせ願います。

お願い

充電式電池のリサイクルご協力お願い

この商品のバッテリパックにはニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、およびご使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ 商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  - ・端子部にテープを貼る。
  - ・外装カバー（被覆・チューブなど）を剥がさない。
  - ・分解しない。

著作権等に関するお願い

本機種を利用して音楽用CD等各種CD、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機種において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控え頂くことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

お願い

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハーディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

・データを「ゴミ箱」に捨てる
・「削除」操作を行う
・「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
・ソフトで初期化(フォーマット)する
・付属のリカバリーCDを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

パソコンユーザが、廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。・

本件に関して詳細は弊社メビウスサポートホームページ
http://support.sharp.co.jp/mebius/
をご覧になられるか、あるいは下記の窓口にお問い合わせくださるようお願い申し上げます。

●パソコンお客様サポートセンター
(別冊の**お客様サポートシステムのご案内**を参照してください)
●パソコンを購入された販売店

また、本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

なお、ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

お客様へのお願い

本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」をご使用いただく前に、下記の契約書をよくお読みください。

このたびは、弊社パーソナル・コンピュータをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
お客様が購入された本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」(以下「本製品」と記載します)にプリインストール または 添付されていますシャープオリジナルソフトウェア(以下「本ソフトウェア」と記載します)をご使用いただく前に下記の契約書をよくお読みください。本契約書にご同意いただけない場合には、本製品を未使用 ・本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを未開封のまま本製品をお求めになった販売店にご返却ください。
お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。本契約書にご同意いただいた方のみ、本ソフトウェアをご使用いただくことができます。

ソフトウェア使用許諾契約書

シャープ株式会社(以下 「弊社」と記載します)は、お客様(法人または個人のいずれであるかを問いません)に、本製品にプリインストールまたは添付されている「本ソフトウェア」を使用する権利を下記条項に基づき許諾します。お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアのパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。

1. 著作権
(1) お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを日本国内で使用する、非独占的な権利を本契約に基づき取得します。
(2) お客様は、本ソフトウェアを、本製品のみでご使用いただけます。
(3) お客様は、本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的においてのみ本ソフトウェアの全部または一部を一部数に限り複製することができます。ただし、本ソフトウェアの複製物を記録した媒体(フロッピーディスク、CD-ROM等)が本製品に添付されている場合には、お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。この場合、お客様は本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的で、本製品に添付された当該複製物を取り扱うものとします。
(4) 本条第2項、および第3項にかかわらず、お客様は「EVA アニメータ」に収録されている「EVA アニメータプラグイン」およびサンプル素材集を第三者に自由に配布することができます。
(5) お客様は「EVA アニメータ」に収録されているサンプル素材集を自由に加工して使用することができます。

2. 権利の許諾
(1) 本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属 又は 第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。したがってお客様は、本ソフトウェアを他の著作物と同様に扱わなければなりません。
(2) 本ソフトウェアとともにお客様に提供されるマニュアルおよび取扱説明書等の関連資料(以下「関連資料」と記載します)の著作権は、弊社に帰属し、これら関連資料は日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。お客様はこれら関連資料を複製することはできません。

3. 制限事項
(1) お客様は、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
(2) お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアの使用、全部または一部を複製、改変等をすることはできません。
(3) お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去することはできません。上記(2)に基づき本ソフトウェアを複製する場合には、本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示も同時に複製するものとします。
(4) お客様は、本ソフトウェアを第三者に使用許諾、貸与またはリースすることはできません。
(5) 第1条第4項および第5項にかかわらず、「EVA アニメータ」に収録されている「EVA アニメータプラグイン」およびサンプル素材集の全部または一部をそのまま、もしくは改変し、商品として製造・販売することはできません。

4．本ソフトウェアの譲渡

お客様は、下記のすべての条件を満たした場合に限り、本ソフトウェアの本契約に基づく使用権を第三者に譲渡することができます。

i）お客様が本契約書、本ソフトウェアを含む本製品、本ソフトウェアのすべての複製物およびその記録媒体、ならびに関連資料を含む本製品のすべてを譲渡し、これらを一切保持しないこと。

ii）譲受人が本契約に同意していること。

5．限定保証

（1）弊社は、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。したがって、本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

（2）上記（1）にかかわらず、お客様が必要事項を記入した 別添のユーザー登録／愛用者カードまたはオンラインユーザー登録を弊社まで返送された場合において、最初にご購入されたお客様が本製品をご購入された後1年以内に、弊社が本ソフトウェアの誤り（バグ）を修正した場合には、弊社はお客様に対して、修正されたソフトウェア、修正のためのソフトウェア（以下、これらのソフトウェアを「修正ソフトウェア」と記載します）、またはこのような修正に関する情報を提供いたします。ただし、修正ソフトウェアまたはこのような修正に関する情報の提供の必要性、提供時期、提供方法等に関しては、すべて弊社の裁量により決定させていただきます。お客様に提供された修正ソフトウェアは本ソフトウェアとみなします。

（3）本ソフトウェアの記録媒体に物理的欠陥（ただし、プログラムおよび／またはデータの読み出しが不可能な場合に限ります）があり、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合、最初のお客様が本製品を購入された日から14日以内に本製品の保証書を添えてお求めになった販売店に当該記録媒体を返却された場合には、弊社は無償で当該記録媒体を同等の記録媒体と交換するものとします。

本項の規定をもって本ソフトウェアの記録媒体に関する弊社の保証のすべてといたします。

6．責任の制限

（1）弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、一切責任を負いません。

（2）いかなる場合においても、本契約に基づく弊社の責任はお客様が実際にお支払いになった本製品の代金のうち本ソフトウェアの代金相当額をその上限とします。

7．契約の期間

本契約は、お客様が本製品を使用されたとき、または 本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封されたとき発効し、下記8．により本契約が終了するまで有効であるものとします。

8．契約の終了

（1）お客様は、書面により事前に弊社まで通知することにより、いつでも本契約を終了させることができます。

（2）弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。

（3）上記（2）の場合、弊社は、お客様によって被った損害をお客様に請求することができます。

（4）お客様は、本契約が終了したときは、直ちに本ソフトウェアおよびそのすべての複製物ならびに関連資料を破棄するものとします。

9．その他

（1）お客様は、いかなる方法および目的によっても、本ソフトウェアおよびその複製物を日本国外に輸出してはなりません。

（2）本契約に関連または起因する紛争は、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

シャープ株式会社　情報システム事業本部

〒639-1186

奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

はじめに

このたびは、シャープパーソナルコンピュータをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障や不具合がありましたら、お買いあげの販売店までご連絡ください。
付属の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。またこの取扱説明書は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、この製品においてソフトウェアを使用された結果に関して、いかなる保証も致しかねますのであらかじめご了承ください。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者が、この製品の使いかたを誤ったときや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
  重要な内容は、必ずCD-R/RWやフロッピーディスクなどの記録媒体に記録し保管してください。
- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

商標、登録商標

・Microsoft 、Windows、Outlook、Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。また、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
・Bookshelf Basic は、次の書籍を基に制作されました。『新英和中辞典』第 6 版©研究社 1967,1994,1998、『新和英中辞典』第 4 版©研究社 1933,1995,1998、『新明解国語辞典』第 5 版© 三省堂 1972,1974,1981,1989,1997
・AMD、AMD Athlon、並びにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
・ProSavage8 は、S3 Graphics 社の商標です。
・S3 は、S3 Graphics 社にライセンスされた商標です。
・スマートメディアは、株式会社東芝の商標です。
・CompactFlash(コンパクトフラッシュ)、CF は、米国 SanDisk Corporation の商標です。
・ドルビー、DolbyおよびダブルD記号「DD」は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
非公開機密著作物。著作権 1992-1997 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

・PowerQuest は、PowerQuest Corporation の登録商標です。
EasyRestore は、PowerQuest Corporation の商標です。
・筆王は、株式会社アイフォーの登録商標です。
・MegaVi は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
・Drag'n Drop CD は、イージーシステムズジャパン株式会社と株式会社デジオンの商標です。
・DION は、KDDI 株式会社の登録商標です。
・@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。
・ODN は、日本テレコム株式会社の登録商標です。
・BIGLOBE は、日本電気株式会社の登録商標です。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。』

高調波ガイドライン適合品

この説明書の読み方

この説明書は目的別構成になっています。電源を入れた後は、操作したい内容の章からお読みください。

操作のしかたを確かめよう［基本編］

このパソコンの基本的な操作を知りたい、というときにお読みください。ACアダプタを外して使用するときは、「パソコンをバッテリで使う」を必ずお読みください。

通信機能を使ってみよう［通信編］

通信のしかたを知りたい、というときにお読みください。電話回線やLANケーブルを使って通信する方法などを紹介しています。

周辺機器を接続しよう［周辺機器編］

周辺機器と接続してパソコンを活用したい、というときにお読みください。プリンタに接続して印刷したり、PC カードなどを使って機能を拡張する方法などを紹介しています。

パソコンで楽しもう［活用編］

パソコンをもっと活用したい、というときにお読みください。音楽を聴く方法や、デジタルカメラで撮った画像を取り込む方法なども紹介しています。

セキュリティとデータのバックアップ［万一に備えて］

パソコンが動かなくなった、コンピュータウイルスに感染してしまった…そんなときのために大切なデータをバックアップする方法やコンピュータウイルスを予防･駆除する方法などを紹介しています。

困ったときは

操作中にパソコンが動作しなくなったり、思った結果にならないときは「故障かな？と思ったら」をお読みください。また、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻す方法も紹介しています。

付録

セットアップユーティリティの設定内容や、パソコンに関する補足情報などについて紹介しています。また「さくいん」から、操作説明を探すこともできます。

この説明書の表記方法

この説明書で使用している記号について

⚠ 注意	無視すると、使用者が損害を負う可能性のある注意事項を記載しています。
	パソコンや周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

キーの表示について

キーボードのキーを押す操作では、キーを枠で囲んでいます。

また、複数のキーを同時に押すときは、「+」でつないで表記しています。

例） Fn + F7 (▲☼)

画面上のボタンについて

画面に表示されるボタン(OK など)は、[　]で囲んで表記しています。

例）[OK] をクリックします。

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や、画面やアイコンの名称などは、「　」で囲んで表記しています。

例）
- 「コントロールパネル」をクリックします。
- 「画面のプロパティ」画面が表示されます。

文字入力について

キーボードを使って文字を入力する内容は、太字または「　」で囲み、小文字で表記しています。特に指定がない限り半角文字を入力してください。

例）**c:¥mnmanual¥sample.bmp** と入力します。

モデルごとの説明とイラストについて

本書はシリーズ共通の説明書です。お使いのモデルによっては、ディスプレイの大きさや画面に表示されるアイコンの位置や種類などが異なる場合がありますが、操作については基本的に同じです。各モデルの仕様は**仕様一覧**（☞187ページ）を参照してください。

コントロールパネルの表示について

コントロールパネルの表示にはカテゴリの表示とクラシック表示があります。この説明書では、カテゴリの表示で説明しています。

「カテゴリの表示」画面

ここをクリックすると「クラシック表示」画面に切り替わります。

「クラシック表示」画面

ここをクリックすると「カテゴリの表示」画面に切り替わります。

コントロール パネル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
戻る
検索
フォルダ
カテゴリの表示に切り替える
関連項目
Windows Update
ヘルプとサポート
インターネット オプション
キーボード
ゲーム コントローラ
サウンドとオーディオ デバイス
システム
スキャナとカメラ
タスク
タスク バーと [スタート] メニュー
ネットワーク接続
ハードウェアの追加
フォルダ オプション
フォント
プリンタと FAX
プログラムの追加と削除
マウス
ユーザー アカウント
ユーザー補助のオプション
音声認識
画面
管理ツール
地域と言語のオプション
電源オプション
電話とモデムのオプション
日付と時刻

はじめに 13
この説明書の読み方 15
・この説明書の表記方法 16

基本編（操作のしかたを確かめよう）

各部の名称 24
電源の入れ方・切り方 28
・電源を入れる 28
・電源を切る 30
パッド型ポインティングデバイスを使う 31
・パッド部とボタンで操作する 31
・パッド部だけで操作する 33
・画面をスクロールする 34
キーボードを使う 35
・文字を入力する 35
・特定の機能を働かせる 38
パソコンをバッテリで使う 40
・バッテリパックを充電する 40
・バッテリの残量を確かめる 41
・バッテリ切れを警告するタイミングや動作を設定する 42
・バッテリパックを初期化する 44
・バッテリパックを交換する 45
消費電力を節約する 47
・操作しないときディスプレイやハードディスクの電源を切る 47
・操作しないときスタンバイまたは休止状態にする 48
・今すぐスタンバイまたは休止状態にする 49
音量を調節する 52
ディスプレイの表示を変える 54
・明るさを変える 54
・解像度や色数を変える 54
・壁紙を変える 56
・スクリーンセーバーを変える 57
CD・DVD を使う 58
・使用可能なディスク 58
・ディスクをセットする／取り出す 59
・ディスクの取り扱い 62

フロッピーディスクを使う 64
・フロッピーディスクドライブを接続する 65
・フロッピーディスクドライブを取り外す 65
・フロッピーディスクに保存する 66
・フロッピーディスクをフォーマット（初期化）する 67
・フロッピーディスクの取り扱いについて 68

通信編（通信機能を使ってみよう）

電話回線に接続する 70
ネットワークに接続する（LAN） 73
・パソコンをネットワークに接続する 73
・ネットワークを設定する 76
・このパソコンから他のパソコンのデータを見えるようにする 80
ブロードバンドチェンジャーを使う 83
・ブロードバンドチェンジャーを設定する 83
・ブロードバンドチェンジャーでネットワーク環境を切り替える 84

周辺機器編（周辺機器を接続しよう）

接続できる機器を確かめる 88
・使える周辺機器を確かめる 88
・コネクタの形状を確かめる 88
USB 機器を使う 90
・USB 機器を接続する 90
・USB 機器を取り外す 91
IEEE1394 機器を使う 92
・IEEE1394 機器を接続する 92
・IEEE1394 機器を取り外す 93
プリンタで印刷する 94
・プリンタを接続する 94
・プリンタドライバをインストールする 94
外部ディスプレイに表示する 96
・CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを接続する 96
・ディスプレイドライバをインストールする 96
・画面の表示先を切り替える 97
・外部ディスプレイの解像度を変える 98
・CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを取り外す 99

外部マイクから音声を入力する 100
PCカードを使う 101
・PCカードを差し込む 101
・PCカードを取り出す 103
メモリカードを使う 105
メモリを増設する 107
・増設RAMボードを取り付ける／取り外す 107
・メモリの容量を確認する 110

活用編（パソコンで楽しもう）

デジタルカメラの画像を取り込む 112
デジタルビデオカメラの映像を取り込む 113
・デジタルビデオカメラの映像を取り込む 114
音楽を聴く 116
・音楽CDを再生する 116
・外部スピーカに接続する 117
・ヘッドホンで聴く 117
DVDビデオを見る 118
・DVDビデオを再生する 118
・外部スピーカに接続する 119
・ヘッドホンで聴く 120
・テレビでDVDビデオを見る 120
オーディオ機器に接続する 124
・オーディオ機器にアナログ音声を出力する 124
自分だけのオリジナル音楽CDを作る 125
パソコンを複数のユーザで使う 128
・新しいユーザアカウントを設定する 129
・パソコンを使用するユーザを変更する 130
・ユーザアカウントにパスワードを設定する 131

万一に備えて（セキュリティとデータのバックアップ）

大切なデータをバックアップする ………… 136
・D ドライブにフォルダを作成する ………… 137
・ファイルをバックアップする ………… 137
・インターネットの設定やメールのデータをバックアップする ………… 138
・インターネットの設定やメールのデータを復元する ………… 139
・ネットワークの設定を控える ………… 140
・IME のユーザ辞書をバックアップする ………… 141
・IME のユーザ辞書を復元する ………… 142
コンピュータウイルスを予防する・駆除する ………… 143
・コンピュータウイルスに感染していないか検査する ………… 144
・VirusScan を使って検査する ………… 145
・コンピュータウイルスの感染を予防する ………… 148
・スケジュールを設定する ………… 150
パスワードを設定して使用できる人を制限する ………… 152
・パスワードを登録する ………… 152
・パスワードを登録したパソコンを起動する ………… 153
・パスワードを変更する／削除する ………… 153
盗難を防止する ………… 154

困ったときは

故障かな？と思ったら ………… 156
・Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル ………… 157
・画面表示に関するトラブル ………… 157
・キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル ………… 158
・フロッピーディスクに関するトラブル ………… 159
・CD・DVD に関するトラブル ………… 159
・通信に関するトラブル ………… 160
・その他のトラブル ………… 160
ご購入時の状態に戻す（再インストール） ………… 162
・再インストールの準備をする ………… 162
・再インストールする ………… 165

付録

オリジナルの外字を使う 176
・筆王の外字フォントを解除する 176
セットアップユーティリティ 177
・設定内容を変更する 177
・Main メニュー 179
・Advanced メニュー 180
・Security メニュー 181
・Exit メニュー 182
パソコンのお手入れ 183
バックアップ電池を交換する 184
仕様一覧 187
・ハードウェア 187
・周辺機器（別売品） 188
さくいん 189

基本編

操作のしかたを確かめよう

バッテリやキーボードの使い方、ディスプレイの調整など、この章ではパソコンの基本的な操作について説明しています。たくさんの機能がありますが、全部通して読む必要はありません。必要な項目からお読みください。

各部の名称

前面

ディスプレイ
（☞54ページ）

状態表示ランプ
（☞次ページ）

キーボード
（☞35ページ）

電源／バッテリ状態ランプ
（☞下記）

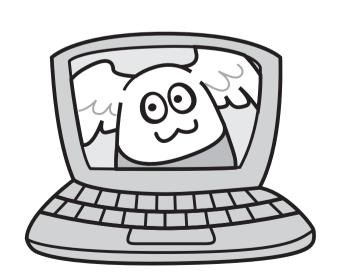
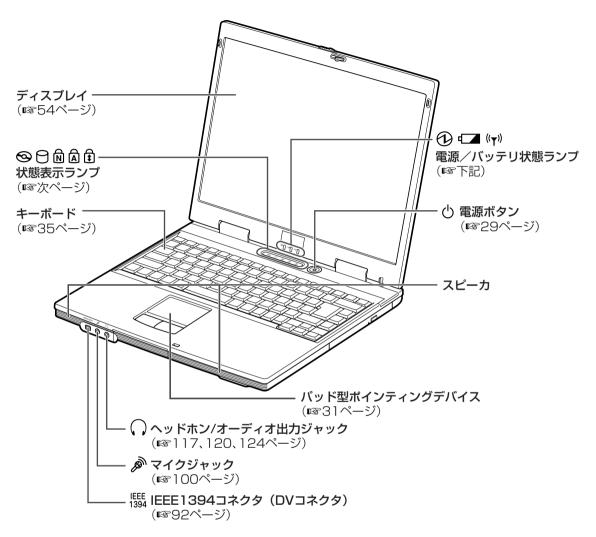
電源ボタン
（☞29ページ）

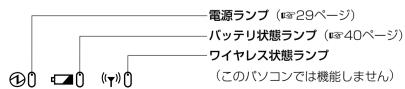
スピーカ

パッド型ポインティングデバイス
（☞31ページ）

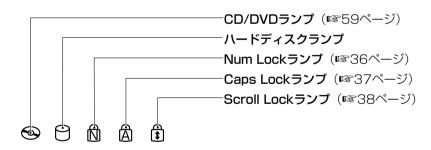
ヘッドホン/オーディオ出力ジャック
（☞117、120、124ページ）

マイクジャック
（☞100ページ）

IEEE 1394 IEEE1394コネクタ（DVコネクタ）
（☞92ページ）

電源／バッテリ状態ランプ

電源のオン／オフ、バッテリの充電状態がわかります。

電源ランプ	緑点灯	電源が入っている。
	緑点滅	スタンバイ状態。
	消灯	休止状態または電源が切れている。
バッテリ状態ランプ	ACアダプタを接続しているとき	
	緑点灯	バッテリが満充電されている。
	オレンジ点灯	バッテリを充電中。
	オレンジ点滅	バッテリの充電が正常に終了しなかった。(☞40ページ)
	ACアダプタを接続していないとき(電源オン状態)	
	赤点滅	バッテリ残量が少ない。同時に警告音が鳴ります。
	消灯	バッテリ残量がある。
	ACアダプタを接続していないとき(電源オフ状態)	
	消灯	常に消灯状態になります。

状態表示ランプ

CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ、ハードディスクドライブにアクセス中に点灯するランプと、キーボードの入力モードを表示するランプがあります。

- 、ランプが点灯中は、電源を切らないでください。データが失われたり、破壊されることがあります。

右側面

CD-R/RW & DVD-ROMドライブ
（☞58、116、118、125ページ）

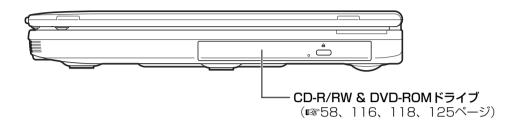
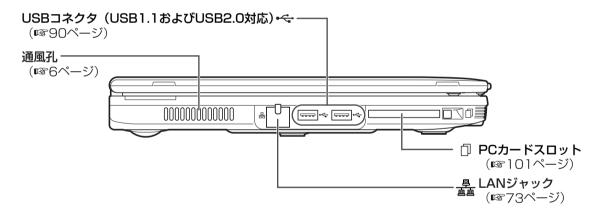
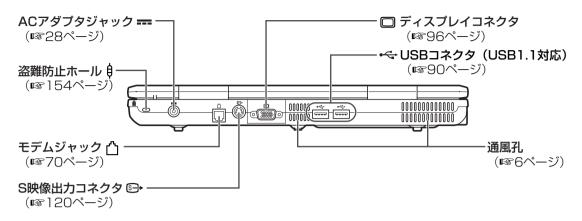
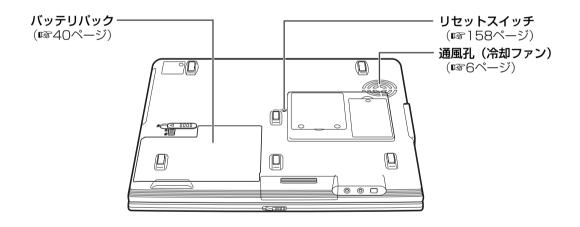
左側面

USBコネクタ（USB1.1およびUSB2.0対応）
（☞90ページ）
通風孔
（☞6ページ）
PCカードスロット
（☞101ページ）
LANジャック
（☞73ページ）

後面

ACアダプタジャック
(☞28ページ)
盗難防止ホール
(☞154ページ)
ディスプレイコネクタ
(☞96ページ)
USBコネクタ（USB1.1対応）
(☞90ページ)
モデムジャック
(☞70ページ)
通風孔
(☞6ページ)
S映像出力コネクタ
(☞120ページ)

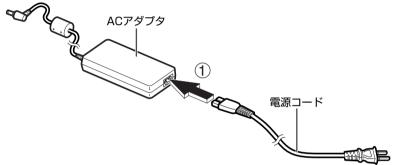
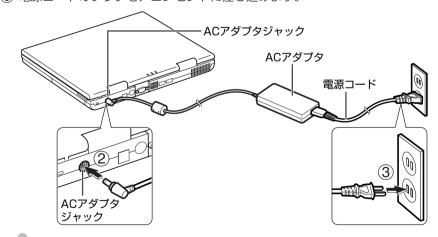
底面

バッテリパック
(☞40ページ)
リセットスイッチ
(☞158ページ)
通風孔（冷却ファン）
(☞6ページ)

電源の入れ方・切り方

基本的な電源の入れ方と切り方を確認しましょう。
初めて電源を入れるときは、「はじめにお読みください」（別冊）を参照してください。

電源を入れる

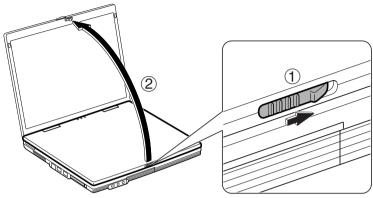
1 パソコンを電源コンセントに接続します。

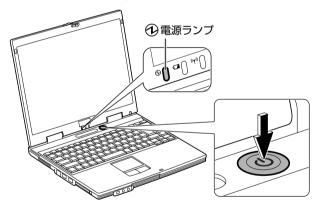
下図のように、付属の電源コードと AC アダプタを使って接続します。
① 電源コードを、AC アダプタに接続します。

② ACアダプタのコネクタを、パソコンのACアダプタジャックに「カチッ」と音がするまで差し込みます。
③ 電源コードのプラグを、コンセントに差し込みます。

ご注意

- ①②③ の各接続部はしっかりと奥まで差し込んでください。
- ACアダプタ（EA-GP3V）および電源コードは、必ずこのパソコンの付属品を使用してください。付属品以外のものを使用すると、故障の原因になります。

2 ディスプレイを開きます。

① レバーを右側にスライドします。

② レバーをスライドさせた状態でディスプレイを開きます。

3 電源ボタンを押します。

⏻(電源)ランプが緑色に点灯し、Microsoft Windows XP Home Edition(以下Windowsと表記します。) が起動します。

ご参考

- 複数のユーザアカウントが設定されているときは、ようこそ画面で使用するユーザアカウントをクリックして選択してください。(**パソコンを複数のユーザで使う**☞128ページ)
- 一定時間パソコンを操作しないでいると、節電機能が働いて画面の表示が消えます。何らかのキーを押すか、パッド型ポインティングデバイスを操作すると、再び表示されます。

電源を切る

1 **[スタート] をクリックします。**

スタートメニューが表示されます。

2 **「終了オプション」をクリックします。**

3 **「電源を切る」をクリックします。**

パソコンの電源が切れ、 ランプが消えます。

ご参考

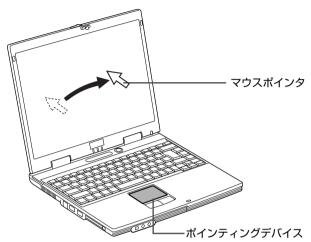
- 「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています」と表示されたときは、[いいえ]をクリックし、ほかのユーザアカウントの作業を終了してください。(ユーザアカウントを切り替えて使用しているときに Windows を終了すると ☞130 ページ)

4 **「カチッ」と音がするまでディスプレイをゆっくりと閉じます。**

ご注意

- 再び電源を入れるときは、必ず10秒以上の間隔をおいてください。連続して電源を切ったり入れたりすると、故障の原因になります。

パッド型ポインティングデバイスを使う

Windows では、ポインティングデバイスによる画面操作で、ほとんどの操作が可能です。
初めはマウスポインタ（ ）が思いどおりに動かないものですが、マウス（市販品）を使うより場所をとらず、外出先でも手軽に操作できますから、ゆっくり操作しながら慣れましょう。

パッド部とボタンで操作する

ポイントする

マウスポインタ（矢印マーク）を目的のアイコンやボタンの上に移動することです。

パッドに指を触れて、移動したい方向に動かします。
パッドの端で指を動かす場所がなくなったら、いったん指を上げて元の位置へ戻して、再度指を動かしてください。

- 必ず指で操作してください。先のとがったもの（シャープペンやボールペンの先）で操作すると、パッドを傷めてしまいます。
- 濡れた手や汗をかいた手で操作しないでください。マウスポインタが思わぬ方向に動いてしまうだけでなく、故障の原因にもなります。

クリックする

画面上のボタンを押したり、メニューを選ぶ操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、
左ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ダブルクリックする

ソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときの操作です。

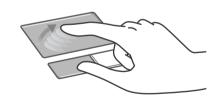
マウスポインタの位置を確かめて、
左ボタンを「カチッカチッ」と2回押します。

右クリックする

関連するメニューを表示するときなどに使う操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、
右ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ドラッグする

ファイルやフォルダを移動する操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、親指で左ボタンを押したまま、人差し指をパッド上で動かします。
目的の位置まできたら、親指を左ボタンから離します（ドロップする)。
人差し指はそのあとゆっくり離してかまいません。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

パッド部だけで操作する

左ボタンのかわりにパッド部を「トン」と指でたたいて、クリックやダブルクリックをすることもできます。

クリックする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トン」と 1 回たたきます。

ダブルクリックする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トントン」と 2 回たたきます。

ドラッグする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トントン」と2回たたき、指をパッドにのせたまま動かします。
目的の位置まで動かしたら、指を離します（ドロップする）。
一連の動作をドラッグ& ドロップと呼びます。

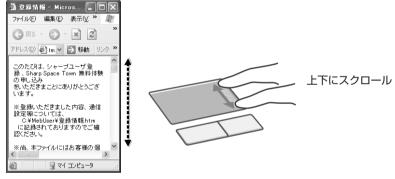
画面をスクロールする

パッド部で指を動かして、画面をスクロールすることができます。
画面のスクロールは、対応したアプリケーションソフトでのみ動作します。

上下にスクロールする

パッドの右端に指を触れて、前後に動かします。指を前に動かすと画面が上にスクロールされ、後ろに動かすと画面が下にスクロールされます。

左右にスクロールする

パッドの下部に指を触れて、左右に動かします。指を右に動かすと画面が右にスクロールされ、左に動かすと画面が左にスクロールされます。

その他の機能の確認や設定は

- 「マウスのプロパティ」画面を参照してください。画面を表示するには、以下の手順に従って操作してください。
  ① [スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
  「コントロールパネル」画面が表示されます。
  ②「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
  「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。（**コントロールパネルの表示について** ☞17 ページ）
  ③「マウス」をクリックします。

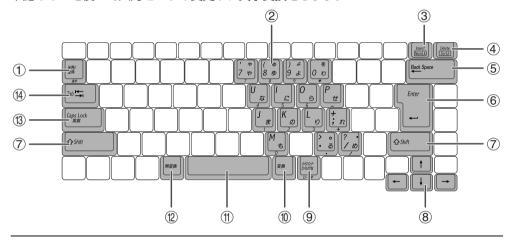
キーボードを使う

キーボードを使うと、文字を入力したり、特定の機能を働かせたりすることができます。ここでは、それぞれの役割に使うキーをまとめて紹介します。

ご参考

- Windowsやアプリケーションソフトで割り当てられているその他の機能については、下記のものを参照してください。
  - ・[スタート]をクリックし、「ヘルプとサポート」をクリックして表示されるヘルプ画面
  - ・Microsoft IME(日本語入力システム)のヘルプ
  - ・お使いのアプリケーションソフトの説明書、ヘルプ

文字を入力する

下記のキーを使って入力モードの変更や、文字変換をします。

① **半角/全角・漢字 キー**

日本語入力システムのオン/オフを切り替えます。(ご購入時の設定)

② **数字キーブロック**

数字キーロックモード時、数字と演算記号(青色刻印)が入力できる状態になります。

③ **Insert (インサート)キー**

文字を入力するときに、挿入するか、上書きするかを切り替えます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。

NumLk（数字キーロック）キー
Fn キーを押しながら Insert（ NumLk ）キーを押すと、 (Num Lock) ランプが点灯し、数字キーロックモードになります。このとき数字キーブロックで、数字と演算記号（青色刻印）が入力できます。モードを解除するには、もう一度 Fn キーを押しながら Insert（ NumLk ）キーを押します。

④ **Delete（デリート）キー**
カーソル位置の右側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑤ **Back Space（バックスペース）キー**
カーソル位置の左側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑥ **⏎ Enter（エンター）キー**
日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を確定します。
文字確定後、および日本語入力システムがオフのときは、改行になります。

⑦ **Shift（シフト）キー**
Shift キーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている文字や記号、アルファベットの大文字が入力できます。

⑧ **↑ ↓ ← →（カーソル）キー**
カーソルを上下左右に移動します。

⑨ **カタカナ・ひらがな・ローマ字** キー
日本語入力システムがオンのときは、 Alt キーを押しながら
カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーを押すたびに、かな入力／ローマ字入力が切り替わります。また、 Shift キーを押しながら
カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーを押すと、カタカナモードになります。ひらがなモードに戻るには、 カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーだけを押します。

⑩ **変換 キー**
日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を変換します。
もう 1 度 変換 キーを押すと、他の候補リストを表示します。
スペースキーを押して変換することもできます。（ご購入時の設定）

⑪ **スペースキー**
スペース（空白）を入力します。

⑫ **無変換 キー**

日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を、全角／半角のカタカナや数字に変換できます。

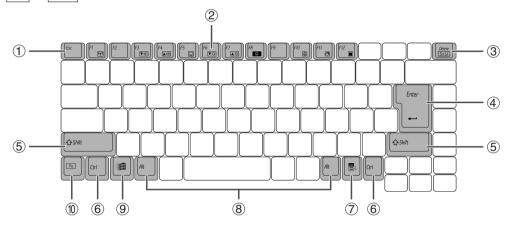
⑬ **Caps Lock・英数 キー**

Shift キーを押しながら **Caps Lock・英数** キーを押すと、(Caps Lock)ランプが点灯し、アルファベットの大文字が入力できる状態になります。モードを解除するには、もう一度 **Shift** キーを押しながら **Caps Lock・英数** キーを押します。また、日本語入力システムがオンのときに **Caps Lock・英数** キーを押すと、英数字モードになります。

⑭ **Tab（タブ）キー**

タブ位置まで入力位置が移動します。

特定の機能を働かせる

キーボードからパソコンを動作させるためには、特定の機能を割り当てたキーを押す方法と、Fn や Ctrl キーなどを押しながら他のキーを押す操作（ショートカット）があります。

① **Esc（エスケープ）キー**

現在の操作を取り消して、1 つ前の操作に戻るときなどに押します。

② **F1 ～ F12（ファンクション 1 ～ 12）キー**

使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。

③ **Delete（デリート）キー**

選択したファイルやアイコンなどを削除します。

ScrLk（スクロールロック）キー

Fn キーを押しながら Delete（ScrLk）キーを押すと、（Scroll Lock）ランプが点灯し、スクロールロックモードになります。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。モードを解除するには、もう一度 Fn キーを押しながら Delete（ScrLk）キーを押します。

④ **（エンター）キー**

設定画面の破線で囲まれたボタンや、反転している項目を選択します。

⑤ **Shift（シフト）キー**

Shift キーを押しながら他のキーを押すと、キーの上段に刻印されている機能が働きます。

⑥ **Ctrl（コントロール）キー**

Ctrl キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。

⑦ **（アプリケーション）キー**

使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。通常は、右クリックと同じ働きをします。

⑧ **Alt（オルト）キー**

Alt キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。Alt キーを押しながら緑色で刻印されたキーを押すと、その機能が働きます。

⑨ **（Windows）キー**

Windows の「スタート」メニューを表示します。

⑩ Fn（ファンクション）キー

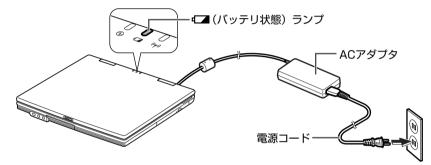
Fn キーを押しながら枠囲みで刻印されているキーを押すと、枠囲みの機能が働きます。枠囲みでアイコンが刻印されているキーの機能は、次のとおりです。

Fn ＋ F1（ ）：の刻印がありますが、このパソコンでは機能しません。
Fn ＋ F3（ ）：音量を下げます。
Fn ＋ F4（ ）：音量を上げます。
Fn ＋ F5（ ）：外部ディスプレイを使用しているとき、表示先を切り替えます。（テレビに切り替えることはできません。）
Fn ＋ F6（ ）：内蔵ディスプレイを暗くします。
Fn ＋ F7（ ）：内蔵ディスプレイを明るくします。
Fn ＋ F8（ ）：内蔵ディスプレイを明るさを最大にします。もう一度押すと、元の明るさにもどります。
Fn ＋ F10（ ）：バッテリパックの残量がわずかになったときに鳴る警告音を止めます。（この警告音はパソコン自体の機能です。Windowsで設定する短い警告音は止まりません。）
Fn ＋ F11（ ）：ディスプレイのオン／オフを切り替えます。
Fn ＋ F12（ ）：パソコンをスタンバイ、休止状態または電源オフにします。

パソコンをバッテリで使う

ACアダプタを接続していないときは、パソコンの電源は内蔵のバッテリパックから供給されます。バッテリパックを上手に使いこなすために、充電や残量確認の方法、バッテリ切れの警告などについて知っておきましょう。

バッテリパックを充電する

バッテリパックを充電するといっても、特別な操作は必要ありません。
AC アダプタを接続するだけで充電が始まり、満充電になると充電が止まります。

充電中の状態は

（バッテリ状態）ランプで確認できます。

オレンジ点灯	充電中
緑点灯	満充電

ご参考

- オレンジ色の点灯が消えたときは、バッテリパックの温度が上がり過ぎたため、充電が一時中止されています。温度が下がると充電が再開されます。また、CPUがたくさんの処理をしているときも充電が一時中止されるため、オレンジ色の点灯が消えます。
- ランプがオレンジ色に点滅（1秒間隔）しているときは、バッテリパックが正しく装着されていない可能性があります。パソコンの電源を切り、いったん、ACアダプタとバッテリパックを取り外し、バッテリパックを装着し直してから、再度ACアダプタを接続してみてください。それでも同じなら、バッテリパックまたはパソコンの充電回路の異常が考えられます。お買いあげの販売店にご連絡ください。

充電時間および満充電時の使用時間は

仕様一覧（☞187 ページ）の「バッテリ充電時間」および「バッテリ駆動時間」を参照してください。

バッテリの残量を確かめる

バッテリの残量は画面で確認できます。

バッテリの残量を確認する

タスクバーの ( ) の上に、マウスポインタを移動します。

バッテリの残量がパーセント表示されます。

残り:X:XX時間 (XX%)

12:00

: AC アダプタを外して、バッテリで使用しているとき

: AC アダプタを接続して使用しているとき (バッテリは充電中)

: AC アダプタを接続して使用しているとき (バッテリは満充電)
このときは、バッテリの残量は表示されず、「AC 電源オン」と表示されます。

(、)をダブルクリックして、「バッテリメーター」画面で確認することもできます。

ご参考

- バッテリの残量表示は概算によるものです。使用状況によって誤差が生じますので目安としてお使いください。
- バッテリの残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったときは、バッテリパックを初期化してください。(☞44 ページ)

タスクバーに (、)が表示されていないときは

次のように操作して、表示させてください。

1 **[スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。**

「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

(コントロールパネルの表示について ☞17 ページ)

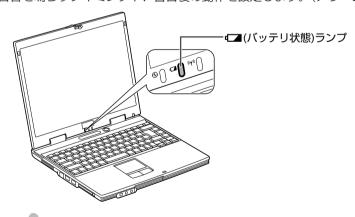
3　**「電源オプション」をクリックします。**

「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4　**「詳細設定」タブをクリックし、「アイコンをタスクバーに常に表示する」をクリックしてチェックマークを付け、［OK］をクリックします。**

5　**画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。**

バッテリ切れを警告するタイミングや動作を設定する

警告音を鳴らすタイミングや、警告後の動作を設定します。（アラーム設定）

ご注意

- バッテリ残量がわずかになると、アラーム設定の内容にかかわりなく、 ランプが赤く点滅し、警告音が鳴ります。すぐにデータを保存して電源を切るか、ACアダプタを接続してください。そのまま使い続けると、パソコンの電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。警告音は、Fn ＋ F10（ ）キーで止まります。

1 **[スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。**
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（コントロールパネルの表示について ☞17 ページ）

3 **「電源オプション」をクリックします。**
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 **「アラーム」タブをクリックし、各項目のつまみをドラッグします。**

「バッテリ低下アラーム」：「バッテリ切れアラーム」より大きい値に設定してください。
「バッテリ切れアラーム」：5%以上の値に設定してください。

5 **それぞれの項目の [アラームの動作] をクリックします。**
「バッテリ残量低下のアラームの動作」または「バッテリ切れのアラームの動作」画面が表示されます。

6 **「アラーム後のコンピュータの動作」をクリックしてチェックマークを付け、動作内容を設定し、[OK] をクリックします。**

7 **[OK] をクリックして「電源オプションのプロパティ」画面を閉じます。**

8 **画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。**

バッテリパックを初期化する

バッテリ残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったときや、新しいバッテリパックと交換したときは、以下の手順でバッテリパックを初期化してください。

1 **AC アダプタを接続して、パソコンの電源を入れます。**

2 **「Press F2 to enter System Configuration Utility」と表示されている間に、F2 キーを押します。**
セットアップユーティリティ画面が表示されます。

3 **ACアダプタを外し、バッテリの残量が完全になくなって電源が切れるまで放置します。**
満充電からバッテリの残量が完全になくなるまでに約 1 時間かかります。

4 **AC アダプタを接続して、満充電になるまで充電します。**
約2.7時間かかります。 満充電になると、 ランプが緑色に点灯します。

5 **パソコンの電源を入れて手順2～4を繰り返し、バッテリパックを放電し、満充電します。**

ご参考

- バッテリパックは消耗品です。充放電をくり返すうちにバッテリが劣化し、使用時間が短くなってきます（常温で約300回が目安です）。初期化しても極端に使用時間が短くなったときは、新しいバッテリパックと交換してください。

バッテリパックを交換する

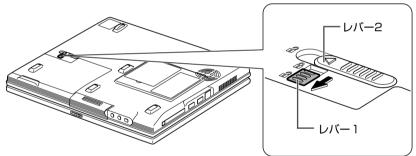
長時間バッテリで使用するときなどは、予備のバッテリパックを準備して交換することもできます。

新しいバッテリパックをお求めのときは

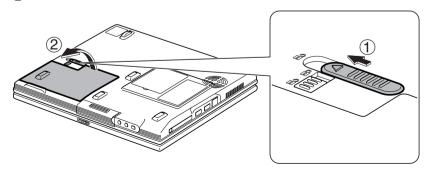
パソコン修理相談センター（お客様サポートシステムのご案内 ☞ 別冊）にお問い合わせください。

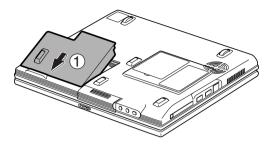
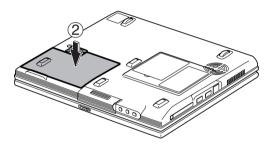
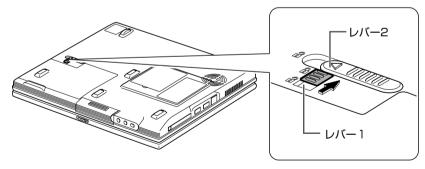
1 **パソコンの電源を切り、AC アダプタを外します。**

2 **ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返します。**

3 **レバー 1 を下へスライドして解除位置（🔓）にします。**

4 **バッテリパックを取り外します。**

① レバー 2 を左へスライドします。

② レバー 2 をスライドさせた状態で、バッテリパックを手前に引き起こします。

5 新しいバッテリパックを取り付けます。

① 新しいバッテリパックの2箇所のツメをパソコンの切り込み部に合わせて差し込みます。

②「カチッ」と音がするまでバッテリパックをゆっくりと押し込みます。

6 レバー1を上へスライドしてロック位置（🔒）にします。

消費電力を節約する

省電力機能は、コントロールパネルの「パフォーマンスとメンテナンス」の「電源オプション」で設定することができます。
省電力機能は、ACアダプタで使用しているときと、バッテリで使用しているときのそれぞれについて設定できます。

操作しないときディスプレイやハードディスクの電源を切る

一定時間操作しない状態が続いたとき、ディスプレイまたはハードディスクへの電源供給を停止することができます。操作を再開すると、再び電源が供給されます。

1 [スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（コントロールパネルの表示について ☞17 ページ）

3 「電源オプション」をクリックします。
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 「モニタの電源を切る」と「ハードディスクの電源を切る」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。
「モニタの電源を切る」の設定は、省電力機能に対応した外部ディスプレイを接続しているとき、外部ディスプレイに対しても働きます。

5 [OK] をクリックして「電源オプションのプロパティ」画面を閉じます。

6 画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。

操作しないときスタンバイまたは休止状態にする

一定時間操作しない状態が続いたとき、スタンバイまたは休止状態にすることができます。

スタンバイ	現在の状態をメモリに保存し、ほとんどの電源供給を停止します。スタンバイに移行すると、 ⏻（電源）ランプが緑点滅します。操作を再開すると、わずかな時間で元の状態に復帰します。
休止状態	現在の状態をハードディスクに保存し、電源を切ります。休止状態に移行すると、 ⏻ ランプが消灯します。電源ボタンを押すと、元の状態に復帰します。

ご注意

スタンバイおよび休止状態へ移行または復帰する際には、誤動作やデータの損失を防ぐため、必ず次の事項を守ってください。

- 移行するときは、通信、印刷、および動画や音楽の再生は、いったん終了してください。
- 移行または復帰中に、パソコンや周辺機器に触れたり、周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- スタンバイは現在の状態を一時記憶するだけです。スタンバイのまま放置してバッテリが切れると、データが消えてしまいます。
- バッテリで使用しているとき、バッテリの残量が一定水準以下になると、スタンバイまたは休止状態から復帰できないことがあります。その場合は、ACアダプタを接続してください。

ご参考

- 復帰後に、ようこそ画面が表示されたときは、使用するユーザアカウントをクリックしてください。（パソコンを複数のユーザで使う ☞128 ページ）

スタンバイまたは休止状態になるまでの時間を設定する

1 **［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。**

「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

（コントロールパネルの表示について ☞17 ページ）

3 **「電源オプション」をクリックします。**

「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 「システムスタンバイ」と「システム休止状態」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。

5 [OK] をクリックして「電源オプションのプロパティ」画面を閉じます。

6 画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。

今すぐスタンバイまたは休止状態にする

席を外すときなどに、パソコンをスタンバイまたは休止状態にしておくことができます。

「コンピュータの電源を切る」画面でスタンバイまたは休止状態にする

1 [スタート] をクリックし、「終了オプション」をクリックします。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

2 スタンバイにするときは、「スタンバイ」をクリックします。

Shift キーを押すと「スタンバイ」が「休止状態」に変わります。

休止状態にするときは、 Shift キーを押しながら「休止状態」をクリックしてください。

特定の操作でスタンバイまたは休止状態にする

「電源オプションのプロパティ」画面で設定すると、次の操作をしたときも、スタンバイまたは休止状態にすることができます。

- ディスプレイを閉じる。
- 電源ボタンを押す。
- Fn ＋ F12 (⏸) キーを押す。

1 **[スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。**
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（コントロールパネルの表示について ☞17 ページ）

3 **「電源オプション」をクリックします。**
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 **「詳細設定」タブをクリックし、必要な項目を設定します。**

「ポータブルコンピュータを閉じたとき」：
ディスプレイを閉じたときの動作を、何もしない／スタンバイ／休止状態から選択します。
「コンピュータの電源ボタンを押したとき」：
電源ボタンを押したときの動作を、何もしない／入力を求める／スタンバイ／休止状態／シャットダウンから選択します。
「コンピュータのスリープボタンを押したとき」：
Fn ＋ F12 (⏸) キーを押したときの動作を、何もしない／入力を求める／スタンバイ／休止状態／シャットダウンから選択します。

5 **[OK] をクリックして「電源オプションのプロパティ」画面を閉じます。**

6 **画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。**

「入力を求める」を選択したときは

- 手順 **4** で「入力を求める」を選択したときは、電源ボタンまたは **Fn** ＋ **F12**（ ）キーを押すと、「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

音量を調節する

パソコンのスピーカやヘッドホン／オーディオ出力ジャックの音量を調節する方法について説明します。

音量を調節するには

ここでは、以下の 2 つの方法について説明します。

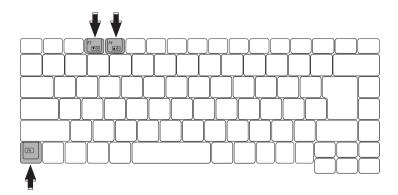
- キーボード操作で調節する
- Windows で調節する

ご参考

- キーボード操作での音量調節と Windows での音量調節は連動しています。

キーボード操作で調節する

Fn キーを押しながらファンクションキーの **F3**（▼🔉）または **F4**（▲🔊）キーを押して、調節します。

Fn ＋ **F3**（▼🔉）：音量を下げます。
Fn ＋ **F4**（▲🔊）：音量を上げます。

Windows で調節する

1 **タスクバーの をクリックします。**

音量を調節する画面が表示されます。

タスクバーに が表示されていないときは

- タスクバーに表示されるアイコンが多くなると、自動的に隠れることがあります。そのときはタスクバーの をクリックすると隠れているアイコンが表示されます。

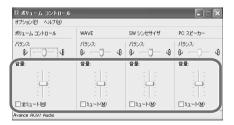
2 **音量つまみを上下にドラッグして音量を調節します。**

3 **音量を調節する画面以外のところをクリックします。**

音量を調節する画面が閉じます。

その他の音量調節

① タスクバーの をダブルクリックします。
「ボリュームコントロール」画面が表示されます。

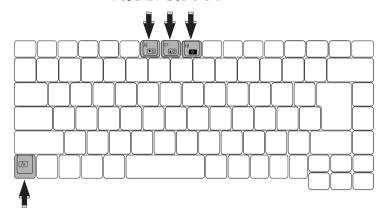
② 再生する音声に応じた音量つまみを上下にドラッグして調節します。

CD/DVD 再生時　:「WAVE」の音量を調節します。
WAVE 再生時　:「WAVE」の音量を調節します。
MIDI 再生時　:「SW シンセサイザ」の音量を調節します。

ディスプレイの表示を変える

ディスプレイが明るくて目が疲れると感じたときや、暗くて見づらいと感じたときは、明るさを調整してください。また、ディスプレイの解像度や壁紙を変えることもできます。

明るさを変える

Fn キーを押しながらファンクションキーの **F6**（▼☼）、**F7**（▲☼）または **F8**（☼）キーを押して、ディスプレイの明るさを変えることができます。

Fn ＋ **F6**（▼☼）：ディスプレイを暗くします。
Fn ＋ **F7**（▲☼）：ディスプレイを明るくします。
Fn ＋ **F8**（☼）：ディスプレイの明るさを最大限にします。もう一度押すと、元の明るさに戻ります。

解像度や色数を変える

パソコンのディスプレイは、解像度や色数を変更することができます。
通常はご購入時の設定のままお使いください。

1 **［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。**
「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（コントロールパネルの表示について ☞ 17 ページ）

3 **「画面解像度を変更する」をクリックします。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 解像度を変えるときは、「画面の解像度」のつまみをドラッグして動かします。色数を変えるときは、「画面の色」の ⌄ をクリックして、メニューから色数を選びます。

5 [OK] をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。
変更した項目（色または解像度）の確認メッセージが表示されます。
メッセージに従って操作してください。

6 画面右上の ☒ をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。

設定可能な解像度と色数

解像度（ドット）	800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024※1、1600 × 1200※1
色数※2	65536 色、1677 万色

※ 1　ディスプレイには、領域のうち1024 × 768 ドットが表示されます。隠れている部分を見るには、その部分がある方向の画面の端にマウスポインタを動かすと画面がスクロールして見えるようになります。

※ 2　ディザリング機能により最大で 1677 万色を表示できます。

ご参考

- 「画面の色」の設定と表示の色数は以下の通りです。
  中（16 ビット）　：65536 色
  最高（32 ビット）：1677 万色

壁紙を変える

このパソコンには、あらかじめいろいろな壁紙が用意されています。

1 **[スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。**

「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

（コントロールパネルの表示について ☞ 17 ページ）

3 **「デスクトップの背景を変更する」をクリックします。**

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 **「背景」リストから壁紙を選びます。**

壁紙を選ぶと設定画面にサンプル画面が表示されます。

5 **[OK] をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。**

選択した壁紙に設定されます。

6 **画面右上の ☒ をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。**

ご購入時の状態に戻すには

上記の手順 **4** で「water_1024_768_16」を選んでください。

スクリーンセーバーを変える

このパソコンには、あらかじめいろいろなスクリーンセーバーが用意されています。

ご参考

- スクリーンセーバーとは、パソコンを一定時間操作しないと、画面を暗くしたり、アニメーションなどを表示したりするプログラムのことを言います。

1 **[スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。**
「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
(コントロールパネルの表示について ☞ 17 ページ)

3 **「スクリーンセーバーを選択する」をクリックします。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 **「スクリーンセーバー」の をクリックして、メニューから表示させたいスクリーンセーバーを選びます。**
スクリーンセーバーを選ぶと、設定画面にサンプル画面が表示されます。
[設定] をクリックすると、スクリーンセーバーごとの設定ができます。
[プレビュー]をクリックすると、実際のスクリーンセーバーの動作を見ることができます。

5 **待ち時間(パソコンを操作しなくなってから、スクリーンセーバーが起動するまでの時間)を入力します。**

6 **[OK] をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。**
選択した壁紙に設定されます。

7 **画面右上の をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。**

ご購入時の状態に戻すには

上記の手順 **4** で「Windows XP」を選んでください。

CD・DVD を使う

このパソコンには、CD-R/RW & DVD-ROM ドライブが搭載されています。CD や DVD に保存されているデータの読み出し(再生)、市販のアプリケーションソフトのインストールなどができます。また、CD-R/RW ディスクにデータを書き込むこともできます。

アプリケーションソフトのインストールについて

アプリケーションソフトをパソコンで使えるようにするには、ドライブにCDをセットし、インストール操作をします。インストールの方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

使用可能なディスク

このパソコンのドライブで使用できるディスクは以下のとおりです。
ご使用のディスクによっては、再生／書き込みできない場合があります。

ディスクの種類	読み出し（再生）	書き込み	書き換え
CD-ROM※ 音楽CD	○	×	×
CD-R	○	○	×
CD-RW High Speed CD-RW	○	○	○
DVD-ROM DVD-VIDEO	○	×	×
DVD-R DVD-RW	○	×	×

※　CD-ROMには、ビデオCDおよびフォトCDを含みます。

CD-R について

データを1回だけ書き込めます。ディスクに空き容量があるときは、追加して書き込めます。記録済みの部分を消去することはできません。

書き込んだディスク	一部のCDプレーヤーやCD-R未対応のパソコンでは、読み出し／再生できません。
動作確認済みディスク	太陽誘電(株)製、(株)リコー製、三菱化学(株)製、三井化学(株)製、日立マクセル (株) 製

CD-RW について

記録済みの部分を消去して何度も書き込めます。(約 1000 回)

書き込んだディスク	CD-RW対応ドライブを搭載したパソコンや機器で読み出し／再生できます。
動作確認済みディスク	(株) リコー製、三菱化学 (株) 製

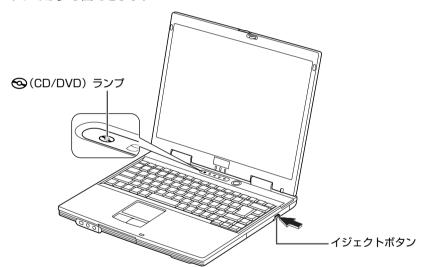
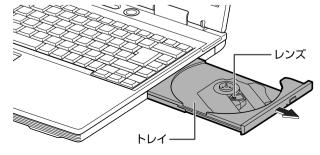
ご参考

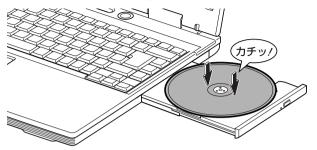
- CD-R/RW にデータを書き込むときは、付属の編集ソフト Drag’n Drop CD をお使いください。編集ソフトの操作方法は、ヘルプを参照してください。また、複数の音楽CDを1枚のCD-Rにコピーする方法については、自分だけのオリジナル音楽CDを作る（☞125ページ）を参照してください。
- 音楽 CD を再生するときは、音楽を聴く（☞116 ページ）を参照してください。
- DVDビデオを再生するときは、DVDビデオを見る（☞118ページ）を参照してください。

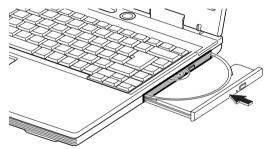
ディスクをセットする／取り出す

ディスクをセットする

1 （CD/DVD）ランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

トレイが少し出てきます。

2 トレイを、止まるまでゆっくり引き出します。

3 ラベル面（文字が印刷されている面）を上にして、ディスクをトレイに置きます。

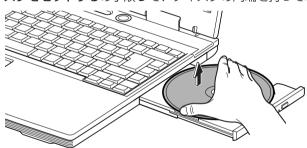
ディスクの中央を「カチッ」と音がするまで押さえてセットします。

4 「カチッ」と音がするまでトレイを押し込みます。

ディスクが認識されるまで 10 秒以上かかります。

ご注意

- ランプが点灯しているときは、イジェクトボタンを押さないでください。誤動作の原因となります。
- レンズに手を触れないでください。レンズが汚れると、故障の原因になります。レンズを拭くときは、糸くずの出ない綿棒で軽く拭いてください。

ディスクをセットした後に以下のような画面が表示されたときは、Windowsが実行する動作をクリックして選択し、［OK］をクリックします。
表示される画面は、ディスク内のデータによって異なります。

ディスクを取り出す

ディスクをセットするの手順 **3** で、ディスクの両端を持って取り出します。

ディスクの取り扱い

ディスクに記録されているデータやプログラム、ドライブを保護するために、次の注意をお守りください。

ディスクを持つときは、両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ち、ディスクの表面に手を触れたり、傷を付けないでください。

直射日光の当たるところや暖房器具の近く、ほこりの多いところなどでの使用・保管は避けてください。

文字などを書いたり、テープなどを貼ったりしないでください。
CD-RまたはCD-RWのラベル面に文字を書くときは、先の硬い筆記用具を使わないでください。傷が付くと、データが読めなくなります。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

テープなどののりがはみ出たものや、はがしたあとがあるものは使わないでください。

特殊形状(ハート形や八角形など)のディスクは使わないでください。

お手入れのしかた

信号面に汚れが付いたときは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布で、中央から縁に向けてまっすぐに軽く拭きとってください。矢印と反対の方向に拭いたり、レコード盤のようにまわしながら拭くと傷がつくことがあります。

CD-R または CD-RW をお使いのときは

記録面に傷やほこりが付かないように注意してください。
傷やほこりが付くと、データの書き込みが正しくできなくなります。ほこりが付いたときは、カメラ用の清掃用ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズのお手入れ

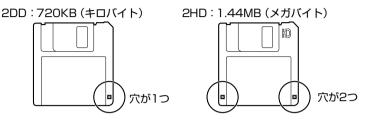
ディスクトレイのレンズ（☞59ページ）に汚れが付いたときは、糸くずの出ない綿棒で軽く拭いてください。

次のものは使用しないでください。ディスクおよびレンズを傷める恐れがあります。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの化学薬品
- 研磨剤を含むクリーナ
- レコード用のスプレーやクリーナ
- 静電防止剤

フロッピーディスクを使う

別売の USB 接続 FD ドライブユニット（CE-FD05）を使うと、文書データなど比較的小さいデータを保存できます。

フロッピーディスクについて

フロッピーディスクには、2DD と 2HD の 2 種類があります。

使用できるフロッピーディスク

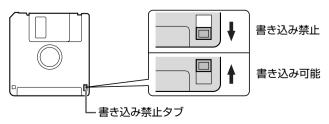
- **2HD（1.44MB）の「DOS/V 用」と表示されたものを選んでください**
  フロッピーディスクを購入するときは、「DOS/V用」（「DOS/V機器対応」「DOS/Vフォーマット済み」）と表示されたものを選んでください。
- **その他の 2HD（1.44MB）のフロッピーディスクはフォーマットすると使えます**
  「DOS/V 用」以外のフロッピーディスクは、フォーマット（初期化）すると、「DOS/V 用」として使えるようになります。（☞67 ページ）

- フォーマットすると、フロッピーディスク内のデータはすべて消えてしまいます。大切なデータが入っていないか、あらかじめ確認してください。

ご参考

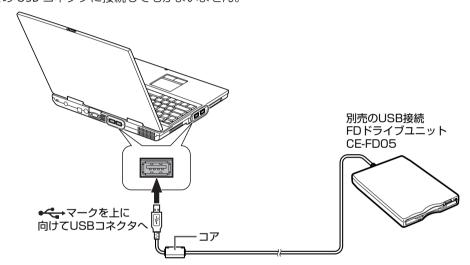
- 2DD（720KB）および2HD-1.2MBタイプのフロッピーディスクも使用できますが、使用上の制限事項があります。（☞159 ページ）

書き込み禁止タブについて

フロッピーディスクには、保存したデータを誤って消してしまわないように、書き込み禁止タブがついています。データを保存するときは、必ず書き込み可能の位置にしてください。書き込み禁止状態でもデータを読み込むことはできます。

フロッピーディスクドライブを接続する

フロッピーディスクドライブは以下のものをお買い求めください。

USB 接続 FD ドライブユニット　　CE-FD05

パソコンの電源を入れたまま接続できます。
どの USB コネクタに接続してもかまいません。

ご参考

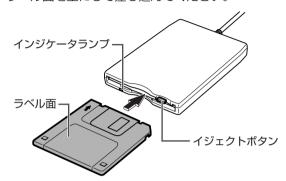
- このパソコンには、USB 接続 FD ドライブユニット（CE-FD05）用ドライバがあらかじめ保存されています。はじめてUSB接続FD ドライブユニット（CE-FD05）を接続したとき、ドライバが自動的にインストールされますので、そのままご使用になれます。

フロッピーディスクドライブを取り外す

取り外す前にデバイスを停止する必要があります。**USB 機器を取り外す**（☞91ページ）を参照して、デバイスを停止してから USB 接続ケーブルを取り外してください。

フロッピーディスクに保存する

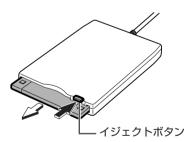
1 **フロッピーディスクドライブに、書き込み可能状態にしたフロッピーディスクを入れます。**

ラベル面を上にして差し込んでください。

正しく差し込まれると、イジェクトボタンが少し飛び出します。

斜めに入れたり、上下を逆にしたりして、無理に押し込まないでください。

2 **使用しているアプリケーションソフトで、「保存する場所」を「3.5インチFD（A:）」に指定して、作成したデータを保存します。**

3 **インジケータランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。**

フロッピーディスクの端が少し出てきて、取り出すことができます。

ご注意　インジケータランプ点灯中はディスクを取り出さないでください

- 点灯中はディスクへの書き込みが実行されています。途中でディスクを抜くと、データが失われたり、破損したりすることがあります。

フロッピーディスクをフォーマット（初期化）する

フロッピーディスクをフォーマットすると、新しいディスクとして使用することができます。（記録されていたデータはすべて消去されます。）
フォーマットしたいフロッピーディスクが、書き込み禁止になっていないことを確認し、次のように操作してください。

1 **フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを入れます。**

2 **［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。**

3 **「3.5 インチ FD（A:）」アイコンを右クリックし、「フォーマット」をクリックします。**

「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面が表示されます。

4 **必要に応じて、フォーマットオプションを設定します。**
新しいディスクをフォーマットするときは、「クイックフォーマット」のチェックマークを外してください。

5 **［開始］をクリックします。**
確認の画面が表示されます。

6 **［OK］をクリックします。**
フォーマットが始まります。

7 **「フォーマットが完了しました」と表示されたら、［OK］をクリックします。**

8 **［閉じる］をクリックして「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面を閉じます。**

9 **画面右上の ☒ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。**

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータを保護するため、次のような点にご注意ください。

シャッタを開けて直接シート(記録面)に触れないでください。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

液体をこぼさないでください。

磁気を発生させるもの(磁石、スピーカなど)の近く、直射日光の当たるところや暖房器具の近く、ほこりの多いところなどでの使用･保管は避けてください。

通信編

通信機能を使ってみよう

このパソコンで作ったデータを、もう一台のパソコンに移したい。自分のパソコンを、会社のネットワークにつないで活用したい … この章では、そんなとき必要な通信のしかたについての様々な方法を紹介します。

電話回線に接続する

パソコンを一般電話回線に接続するには、付属のモデムケーブルを使って、パソコンのモデムジャックと電話回線のモジュラージャックを接続します。

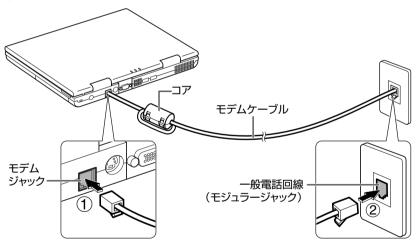
ご注意

- 内蔵モデムは一般電話回線（アナログ回線）専用です。以下のようなデジタル回線には接続しないでください。故障の原因となります。
  - ・ISDN のデジタル回線
    （TA（ターミナルアダプタ）を経由して接続してください。）
  - ・構内交換機（PBX）のデジタル回線
  - ・公衆電話のデジタル（ISDN）回線

1 **パソコンの電源を切ります。**

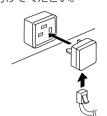
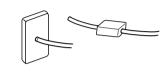
2 **パソコンを一般電話回線に接続します。**

① 付属のモデムケーブルのコアのある方のコネクタを、パソコンのモデムジャックに差し込みます。

② もう一方のコネクタを、電話回線のモジュラージャックに差し込みます。

3 **パソコンの電源を入れます。**

ご参考

- **モジュラータイプ以外の電話回線で使うには**

3 ピンや 4 ピンの場合には
3 ピンや 4 ピンのジャック形のときは、市販の変換アダプタを取り付けてください。

ローゼットタイプの場合は
差し込み式になっていないときは、最寄りの NTT に連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。電話工事資格を持たない人が工事を行うことは認められていません。

- **直接、パソコンとモジュラージャックを接続してください**
電話やファクシミリを経由して接続すると、正しく通信できないことがあります。

内蔵モデムを使用するときの準備

内蔵モデムを使用するためには、次の準備が必要です。

- 使用する電話回線の情報を登録する。
詳しくは、**入門ガイド～インターネット&メール～**（別冊）の**ダイヤルアップでインターネットに接続しよう － 一般電話回線 － 使用する電話回線の情報を登録する**を参照してください。
- インターネットの接続設定や通信ソフトウェアの設定でモデムやCOMポートの選択が必要な場合は、以下のように設定する。

　　モデム名　　：Lucent Tecnologies Soft Modem AMR
　　COM ポート：COM3

- 通信中に不意に回線が切断されるのを避けるために、次の設定を変更する。
  - ACアダプタを接続する。
  - 「電源オプションのプロパティ」画面で「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（**操作しないときスタンバイまたは休止状態にする**☞48ページ）

ご注意 内蔵モデムを海外で使用しないでください

- 内蔵モデムは、日本国内での使用を目的に設計されています。
  国によって電話回線の仕様が異なるため、海外の電話回線に接続すると誤動作や故障の原因になります。

内蔵モデムについて

- 内蔵モデムは「V.90」方式を採用しています。
- 最大通信速度は受信時と送信時で異なります。
  受信時：56,000bps（理論値）
  送信時：33,600bps
  （bps = bit per second；ビット／秒）
- 接続先（プロバイダなど）が「V.90」に対応していない場合、最大通信速度は送受信とも33,600bpsになります。また、電話回線および接続先（プロバイダなど）の状況によっては、通信速度が遅くなることがあります。
- 内蔵モデムはソフトウェアモデムを採用していますので、使用状態によってはPCカードモデムや外付けモデムに比べて通信速度が遅くなることがあります。
- 内蔵モデムの交換修理については、修理窓口にご依頼ください。（お客様サポートシステムのご案内 ☞ 別冊）
- 内蔵モデムのモデムコマンドについては、下記のメビウスのホームページを参照してください。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

ネットワークに接続する（LAN）

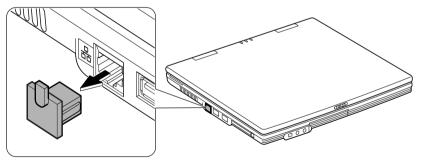
このパソコンを自宅で2台目としてお使いになる場合や、会社でお使いになる場合などパソコン同士でデータをやりとりするときは、ネットワークを利用すると便利です。
使用する環境に応じた方法で接続し、ネットワークの設定をしてください。

パソコンをネットワークに接続する

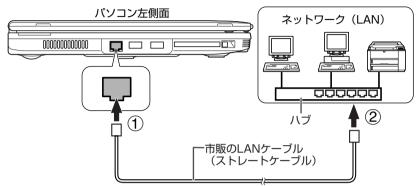
LANケーブルでハブを経由してネットワークに接続する

市販のLANケーブル（ストレートケーブル）を使ってパソコンのLANジャックとハブを接続します。
10BASE-TのLANに接続する場合　：カテゴリ3以上のケーブル
100BASE-TXのLANに接続する場合：カテゴリ5のケーブル

1 **パソコンの電源を切ります。**

2 **LANジャックのキャップを取り外します。**
キャップはなくさないように大切に保管しておいてください。また、使い終わったら必ずキャップを取り付けてください。

3 パソコンをハブに接続します。

① LAN ケーブルを、パソコンの LAN ジャックに差し込みます。

② もう一方のコネクタを、ハブに差し込みます。

4 パソコンの電源を入れます。

LAN ケーブルで 2 台のパソコンを直接接続する

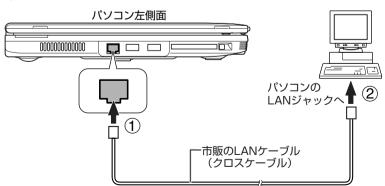
市販の LAN ケーブル（クロスケーブル）を使って、このパソコンの LAN ジャックともう一台のパソコンの LAN ジャックを接続します。

1 「LAN ケーブルでハブを経由してネットワークに接続する」（☞ 前ページ）手順 1 〜 2 の作業をします。

接続先のパソコンも電源を切ってください。

2 このパソコンともう一台のパソコンを接続します。

① LAN ケーブルのコネクタを、このパソコンの LAN ジャックに差し込みます。

② もう一方のコネクタを、もう一台のパソコンの LAN ジャックに差し込みます。

3 両方のパソコンの電源を入れます。

ワイヤレス LAN カードを使って接続する

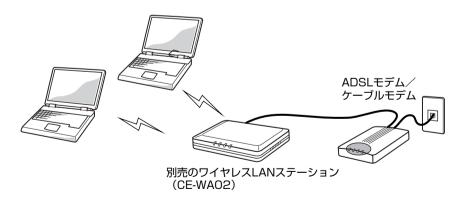
別売のワイヤレス LAN カード（CE-WC02）をこのパソコンの PC カードスロットに装着すると、次のようなことができます

他のパソコンとデータのやり取りをする

ワイヤレスLANに対応している次のパソコンと、データのやり取りやプリンタの共有などができます。

- ワイヤレス LAN カード（CE-WC02）を装着しているメビウス
- メビウスのワイヤレス LAN 内蔵モデル

ワイヤレスでインターネットに接続する

別売のワイヤレス LAN ステーション（CE-WA02）を使えば、ADSL モデムやケーブルモデムを設置している場所とパソコンを設置している場所が離れていても、インターネットに接続できます。例えば、リビングにワイヤレスLANステーションを設置して、自分の部屋のパソコンでホームページを見たり、メールのチェックをしたりできます。

ご参考

- ワイヤレス LAN カードを PC カードスロットに装着する方法については、**PCカードを使う**（☞101 ページ）を参照してください。
- ワイヤレス LAN カード／ワイヤレス LAN ステーションの使い方や設定方法については、それぞれに付属の説明書を参照してください。

ネットワークを設定する

ネットワークを設定するには、ネットワークの環境によっていろいろな方法があります。ここでは、次の場合を例に説明します。

- インターネットに接続していない 2 台のパソコンを LAN ケーブルで接続する場合
- 接続する先のパソコンの OS は Windows XP、Windows Me、Windows 98
- ネットワークの設定に「ネットワークセットアップウィザード」を使用

ネットワークを設定する前に

LANケーブルで2台のパソコンを直接接続する（☞74ページ）を参照してパソコン同士を接続し、それぞれ電源を入れておいてください。

このパソコンのネットワークを設定する

1 **[スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」ー「アクセサリ」ー「通信」ー「ネットワークセットアップウィザード」をクリックします。**

ネットワークセットアップウィザード画面が表示されます。

2 **[次へ] をクリックします。**

3 **[次へ] をクリックします。**

4 **「その他」をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。**

5 **「インターネットに接続していないネットワークに属している」をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。**

6 **「ネットワークへの接続を選択する」をクリックし、[次へ] をクリックします。**

7 **「1394 接続」をクリックし、チェックマークを外します。**

「ローカルエリア接続」のみにチェックマークが付いている状態にしてください。

8 **[次へ] をクリックします。**

9 **「コンピュータの説明」欄にコンピュータの説明を、「コンピュータ名」欄にコンピュータの名前を入力し、［次へ］をクリックします。**

「コンピュータ名」は、ネットワーク上でコンピュータを区別するための名前です。このパソコンと接続先のパソコンは、それぞれ違う名前を付けてください。

10 **「ワークグループ名」欄に任意の名前を入力し、［次へ］をクリックします。**

このパソコンと接続先のパソコンのワークグループ名は、同じ名前を付けてください。

11 **［次へ］をクリックします。**

ネットワークの設定が始まります。

12 **「ほかのコンピュータでウィザードを実行する必要はない（ウィザード終了）」をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。**

13 **［完了］をクリックします。**

確認画面が表示されます。

14 **［はい］をクリックします。**

パソコンが再起動されます。

接続先のパソコンのネットワークを設定する

接続先のパソコンが Windows XP の場合

接続先のパソコンも**このパソコンのネットワークを設定する**（☞ 前ページ）の作業をしてください。

接続先のパソコンが Windows Me または Windows 98 の場合

1 **［スタート］をクリックし、「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。**

「ネットワーク」画面が表示されます。

「ネットワーク」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「現在のネットワークコンポーネント」欄に「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されているか確認します。**

表示されている場合は、手順**4**（☞ 次ページ）に進んでください。

3 **「Microsoftネットワーククライアント」が表示されていない場合、以下の操作をして、「Microsoft ネットワーククライアント」を表示させます。**

① ［追加］をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの選択」画面が表示されます。

② 「クライアント」をクリックして選択し、［追加］をクリックします。
「ネットワーククライアントの選択」画面が表示されます。

③ 「製造元」欄から「Microsoft」をクリックして選択し、「ネットワーククライアント」欄から「Microsoft ネットワーククライアント」をクリックして選択します。

④ ［OK］をクリックします。
「現在のネットワークコンポーネント」欄に「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されます。

4 **「優先的にログオンするネットワーク」欄の ▼ をクリックし、「Microsoftネットワーククライアント」をクリックします。**

5 **[ファイルとプリンタの共有] をクリックします。**

「ファイルとプリンタの共有」画面が表示されます。

6 **「ファイルを共有できるようにする」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。**

プリンタも共有したいときは、「プリンタを共有できるようにする」をクリックしてチェックマークを付けてください。

7 **「識別情報」タブをクリックします。**

8 **「コンピュータ名」、「ワークグループ」、「コンピュータの説明」を入力します。**

「ワークグループ」は、**このパソコンのネットワークを設定する**の手順**10**(☞77ページ)で入力したワークグループ名と同じ名前を入力してください。

9 **[OK] をクリックします。**

確認画面が表示されます。

10 **[はい] をクリックします。**

パソコンが再起動します。

コンピュータ名やワークグループ名を変更するには

1 **[スタート] をクリックし、「マイコンピュータ」 をクリックします。**
「マイコンピュータ」 画面が表示されます。

2 **「システムのタスク」 欄の 「システム情報を表示する」 をクリックします。**
「システムプロパティ」 画面が表示されます。

3 **「コンピュータ名」 タブをクリックし、[変更] をクリックします。**
「コンピュータ名の変更」 画面が表示されます。

4 **「コンピュータ名」、「ワークグループ」 を入力します。**
確認画面が表示されます。

5 **[OK] をクリックします。**

6 **[OK] をクリックして 「システムのプロパティ」 画面を閉じます。**
確認画面が表示されます。

7 **[はい] をクリックします。**
パソコンが再起動されます。

このパソコンから他のパソコンのデータを見えるようにする

パソコンのデータを共有設定すると、お互いのパソコンのファイルやフォルダを利用できます。自分で作ったデータを他の人に見せたり、デスクトップパソコンで作った資料を自分のノートパソコンにコピーしたりと、データの持ち運びに便利です。

フォルダを共有する

ここでは、例として「共有」フォルダを共有する方法について説明しますが、同じようにしてドライブも共有できます。

このパソコンおよび接続先のパソコンが Windows XP の場合

1 **共有したいフォルダ(「共有」フォルダ)を右クリックし、「共有とセキュリティ」をクリックします。**
「共有のプロパティ」 画面が表示されます。

2 **「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」をクリックしてチェックマークを付け、「共有名」 を入力します。**

「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」が表示されないときは

- ネットワークセットアップウィザードを使用していないときや、Windows XPで初めてファイルを共有するときは、次の画面が表示されます。以下の手順に従ってください。

①「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」をクリックします。

②「ファイル共有を有効にする」をクリックして選択し、［OK］をクリックします。

③「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」をクリックしてチェックマークを付け、「共有名」を入力します。

3 ［OK］をクリックします。

共有されたフォルダのアイコンに が表示されます。

接続先のパソコンがWindows MeまたはWindows 98の場合

1 共有したいフォルダ(「私の共有」フォルダ)を右クリックし、「共有」をクリックします。

「私の共有のプロパティ」画面が表示されます。

2 「共有する」をクリックして選択し、「共有名」を入力します。

3 「アクセスの種類」欄でアクセス権の種類をクリックして選択し、必要に応じてパスワードを入力します。

4 ［OK］をクリックします。

パスワードを設定したときは、パスワードの確認画面が表示されますので、もう一度同じパスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。

共有されたフォルダのアイコンに が表示されます。

共有したフォルダを利用する

ここでは、例として他のパソコン（コンピュータ名：Mebius）の「共有」フォルダ内のファイルを、このパソコンのデスクトップ上にコピーする方法を説明します。

1 ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。（**コントロールパネルの表示について** ☞17ページ）

3 「関連項目」欄の「マイネットワーク」をクリックします。
「マイネットワーク」画面が表示されます。

4 「ネットワークタスク」欄の「ワークグループのコンピュータを表示する」をクリックします。
同じワークグループに所属するパソコンのアイコンがすべて表示されます。

5 「Mebius」をダブルクリックします。
共有した「共有」フォルダが表示されます。

6 「共有」フォルダをダブルクリックします。
「共有」フォルダにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してください。
「共有」フォルダ内のファイルが表示されます。

7 このパソコンのデスクトップ上にファイルをドラッグ＆ドロップします。
ファイルがコピーされます。

8 画面右上の ☒ をクリックして「共有 -Mebius」画面を閉じます。

ブロードバンドチェンジャーを使う

「普段は会社のネットワークに接続して、休日は自宅のネットワークにも接続したい。」「自宅だけでなく外出先でもネットワークに接続したい。」

そんなときは、ブロードバンドチェンジャー(ネットワーク設定切り替えソフト)を使うと便利です。接続するネットワークごとに設定を保存でき、利用環境に応じて簡単にネットワーク設定を切り替えられます。

ブロードバンドチェンジャーを使うと

ここをクリックするだけで、登録されているネットワークの設定に切り替わります。

保存される設定項目

保存されるネットワークの設定は、主に次の項目です。

(すべてのネットワーク設定が保存されるわけではありません)

- LAN または、高速インターネットで接続しているときは、以下の情報
  IP 設定　：IP アドレス、デフォルトゲートウェイ
  DNS 設定　：DNS アドレス
  WINS 設定：WINS アドレス
- Internet Explorer に設定されている以下の情報
  ダイヤルアップと仮想プライベートネットワーク(LAN)設定
  プロキシサーバーの設定

ブロードバンドチェンジャーを設定する

ここでは、ブロードバンドチェンジャーの接続先の設定方法と使い方を説明します。

切り替えたいネットワークの設定を取り込む

ブロードバンドチェンジャーでネットワーク環境の設定を切り替える前に、切り替えたいネットワーク環境でその設定を登録(取り込む)しておく必要があります。次の手順でネットワークの設定を取り込んでください。

取り込むときは

- ブロードバンドチェンジャーは、現在のネットワーク接続状況に従って設定を取り込みます。必ずネットワークに接続するために必要なケーブルが接続されている(ワイヤレス LAN 使用時はワイヤレス LAN ステーションに接続されている)状態で、ネットワーク設定の取り込みを行ってください。
- 登録できるネットワーク設定は、最大 20 です。

1 **インターネットへ接続できるように Windows のネットワーク接続を設定して、ネットワークに接続できることを確認してください。**

たとえば、Internet Explorer を起動してホームページが表示できるかどうかを確認します。

設定内容については、プロバイダやネットワーク管理者から提供された資料を参照してください。

2 **[スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」ー「SHARP ブロードバンドチェンジャー」ー「SHARP ブロードバンドチェンジャー」をクリックします。**

ブロードバンドチェンジャーが起動します。

3 **[OK] をクリックします。**

4 **[get] をクリックします。**

5 **ボタンに割り付けるアイコンを選択します。**

[アイコン選択] をクリックすると、ブロードバンドチェンジャー（標準アイコン）や Windows に組み込まれているアイコンの一覧から、アイコンを選ぶことができます。

6 **ネットワーク名称（たとえば「ホーム」など）を入力し、[OK] をクリックします。**

現在パソコンに設定されているネットワーク設定が取り込まれ、設定したアイコンがブロードバンドチェンジャー画面に表示されます。

ブロードバンドチェンジャーでネットワーク環境を切り替える

次の手順で、登録したネットワーク環境に切り替えることができます。

1 **ネットワークに接続するために必要なケーブルが接続されている（ワイヤレスLAN使用時はワイヤレス LAN ステーションに接続されている）ことを確認します。**

2 **[スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」ー「SHARP ブロードバンドチェンジャー」ー「SHARP ブロードバンドチェンジャー」をクリックします。**

ブロードバンドチェンジャーが起動します。

3 **[OK] をクリックします。**

4 **ブロードバンドチェンジャーの画面で、利用したいネットワーク環境のアイコンをクリックします。**

確認のメッセージが表示されます。

5 **[OK] をクリックします。**

選んだネットワーク環境の設定に切り替わります。

ご参考

- ネットワーク設定を取り込んだ状態からハードウェアやソフトウェアの構成を変更したときは、登録したネットワーク設定に正常に切り替えられない場合があります。
- 登録したネットワーク環境の設定を変更するときは、変更したいアイコンを右クリックし、「設定の確認・変更」をクリックします。
- 登録したネットワーク環境を削除するときは、削除したいアイコンを右クリックし、「設定内容の削除」をクリックします。

周辺機器編

プリンタや外部ディスプレイなどの周辺機器を接続すると、パソコンの用途が拡がります。PCカードを差し込んで新しい機能を追加することもできます。

接続できる機器を確かめる

プリンタやマウスなど周辺機器を購入するときは、コネクタの形状が合っているか、自分のパソコンに対応しているのか、などを確かめましょう。

使える周辺機器を確かめる

Windows XP に対応している周辺機器を選びましょう

周辺機器のカタログやパッケージで、Windows XP に対応しているか確認してください。

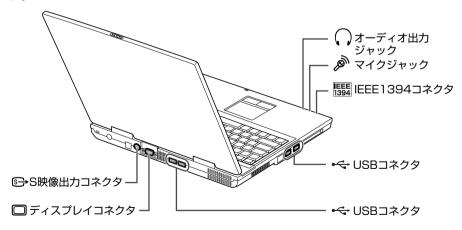
専用のデバイスドライバをインストールするものがあります

デバイスドライバは、周辺機器を認識するためのソフトウェアです。デバイスドライバのフロッピーディスクやCD-ROMが付属されている場合は説明書に従ってパソコンにインストールしましょう。フロッピーディスクを使用する場合、別売の USB 接続 FD ドライブユニット（CE-FD05）が必要です。

ご参考

- 接続可能な周辺機器については、お買いあげの販売店にお問い合わせいただくか、下記のメビウスのホームページを参照してください。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

コネクタの形状を確かめる

このパソコンには次のようなコネクタがあります。コネクタの名前や形状を確認してください。

USB コネクタ（A タイプ）

USB規格対応の機器を接続します。接続できる機器には、「USB対応」などの表示があります。USB対応機器には、マウス、キーボード、プリンタ、モデム、スピーカなどがあります。

コネクタの形状

ディスプレイコネクタ（D-Sub 15 ピン、メス）

パソコン用のCRTディスプレイや液晶ディスプレイを接続します。また、プロジェクタを接続することもできます。

コネクタの形状

S 映像出力コネクタ

S 映像入力端子のあるテレビを接続します。

コネクタの形状

IEEE1394 コネクタ（DV コネクタ）（4 ピン）

IEEE1394規格対応の機器を接続します。接続できる機器には、「IEEE1394対応」などの表示があります。IEEE1394 対応機器には、デジタルビデオカメラ、ハードディスクドライブ、CD-R/RWドライブなどがあります。

コネクタの形状

ご参考

- コネクタの違う機器も変換アダプタを使って接続できることがあります。変換アダプタにも「PC/AT 互換機対応」などの表示がありますから、よく確かめてお使いください。

USB 機器を使う

USB 機器を接続するには、次の準備が必要です。

作業内容や手順などは、USB 機器の説明書もあわせて参照してください。

- Windows XP に対応している USB 機器を用意する。
- パソコンに USB 機器を接続する。
- デバイスドライバが必要な場合、デバイスドライバをパソコンにインストールする。

USB 機器を接続する

USB 機器に付属または市販の USB ケーブルで USB 機器とパソコンを接続します。

USB機器をパソコンに接続するときは、USBケーブルの ⭠ マークを上に向けて接続してください。

後面のUSBコネクタは、USB2.0に対応していません。

ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、USB 機器を接続することができます。
- 接続したUSB機器によっては、接続した後に対応するデバイスドライバが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、画面が表示されますので、画面の指示に従ってデバイスドライバをインストールしてください。

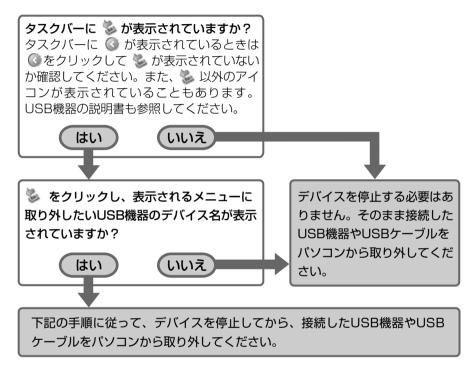
USB2.0 について

このパソコンの左側面にある USB コネクタは、USB1.1 および USB2.0 に対応しています。USB2.0 は、USB1.1 よりも速いスピードでデータを転送することができます。USB2.0 の転送速度を利用するには、USB2.0に対応している周辺機器およびUSBケーブルを接続してください。ただし、USB1.1規格のハブを経由してUSB2.0の周辺機器を接続した場合は、USB1.1の転送速度に制限されます。

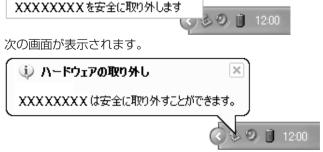
ご参考

- 後面の USB コネクタは、USB2.0 に対応していません。

USB 機器を取り外す

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブなど、データを格納する周辺機器(記憶装置)は、取り外す前にデバイスを停止する必要があります。接続しているUSB機器は、デバイスを停止する必要があるかどうか、取り外す前に必ず確認してください。

1 タスクバーの をクリックします。

2 表示されるメニューから、取り外したい USB 機器のデバイス名をクリックします。

次の画面が表示されます。

3 パソコンから USB 機器や USB ケーブルを取り外します。

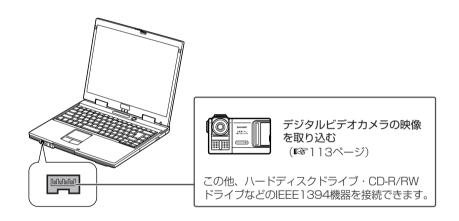
IEEE1394 機器を使う

IEEE1394 機器を接続するには、次の準備が必要です。

作業内容や手順などは、IEEE1394 機器の説明書もあわせて参照してください。

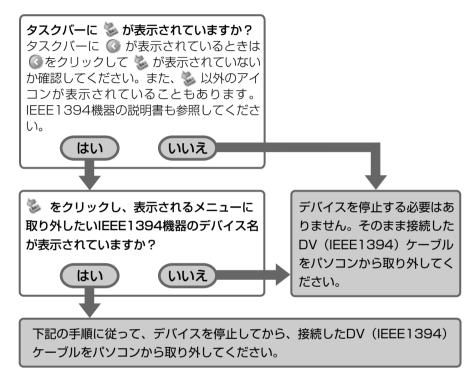
- Windows XP に対応している IEEE1394 機器を用意する。
- パソコンに IEEE1394 機器を接続する。
- デバイスドライバが必要な場合、デバイスドライバをパソコンにインストールする。

IEEE1394 機器を接続する

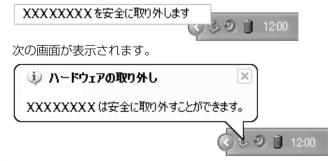
IEEE1394 機器に付属または市販の DV（IEEE1394）ケーブルで IEEE1394 機器とパソコンを接続します。

ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、IEEE1394 機器を接続することができます。
- 接続したIEEE1394機器によっては、接続した後に対応するデバイスドライバが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、画面が表示されますので、画面の指示に従ってデバイスドライバをインストールしてください。

IEEE1394 機器を取り外す

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブなど、データを格納する周辺機器(記憶装置)は、取り外す前にデバイスを停止する必要があります。接続しているIEEE1394機器は、デバイスを停止する必要があるかどうか、取り外す前に必ず確認してください。

1 タスクバーの をクリックします。

2 表示されるメニューから、取り外したいIEEE1394機器のデバイス名をクリックします。

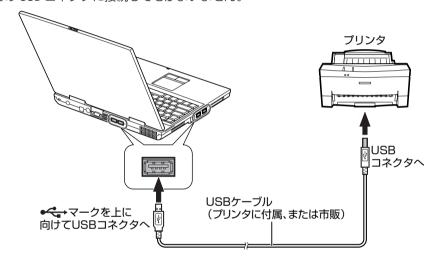
次の画面が表示されます。

3 パソコンから DV (IEEE1394) ケーブルを取り外します。

プリンタで印刷する

プリンタを接続して印刷するには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、プリンタの説明書もあわせて参照してください。

- Windows XP に対応しているプリンタを用意する。
- パソコンにプリンタを接続する。
- プリンタドライバをパソコンにインストールする。

プリンタを接続する

電源を入れたまま接続できます。
どの USB コネクタに接続してもかまいません。

プリンタドライバをインストールする

プリンタを使用するためには、プリンタドライバのインストールが必要です。
プリンタの説明書を参照して、プリンタドライバをインストールしてください。プリンタに付属のフロッピーディスクやCD-ROMを使うこともあります。フロッピーディスクを使用する場合、別売の USB 接続 FD ドライブユニット（CE-FD05）が必要です。

シャープ製、キヤノン製およびエプソン製プリンタの場合

このパソコンには下記のプリンタドライバがあらかじめ保存されています。
はじめて接続したときに、ドライバが自動的にインストールされます。プリンタに付属のプリンタドライバをインストールする必要はありません。

別売のカラーインクジェットプリンタ Prizma（シャープ製）

AJ-2200、AJ-1100

キヤノン製プリンタ

PIXUS 950i、PIXUS 850i、PIXUS 550i、PIXUS 320i、BJ S330

※はじめて接続すると「使用許諾契約書」が表示されますので、[はい] をクリックしてください。

エプソン製プリンタ

PM-870C、PM-860PT、PM-740C、CL-760

ご参考

- 印刷の設定などは、プリンタの説明書を参照してください。
- キヤノン製プリンタおよびエプソン製プリンタに関する質問などは、各メーカーにお問い合わせください。

外部ディスプレイに表示する

アナログCRTディスプレイやアナログ液晶ディスプレイを接続して、もうひとつのディスプレイにもパソコンの画面を表示することができます。また、プロジェクタを接続して、パソコンの画面をスクリーンに投影することもできます。

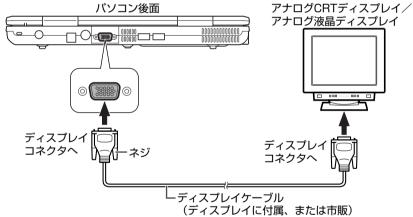
ご参考

- プロジェクタの接続のしかたや表示先の切り替え手順は、CRTディスプレイ／液晶ディスプレイと同じです。プロジェクタの説明書もあわせて参照してください。
- パソコンの画面をテレビに表示することもできます。接続のしかたについては、テレビでDVDビデオを見る(☞120ページ)を参照してください。

CRTディスプレイ／液晶ディスプレイを接続する

1 **パソコンとディスプレイの電源を切ります。**

2 **パソコンとディスプレイを接続します。**

ネジがある場合、ネジを締めてコネクタを固定してください。

3 **ディスプレイの電源を入れます。**

4 **パソコンの電源を入れます。**

ディスプレイドライバをインストールする

アナログCRTディスプレイ／アナログ液晶ディスプレイを使用するためには、ディスプレイドライバのインストールが必要な場合があります。ディスプレイの説明書を参照して、ディスプレイドライバをインストールしてください。ディスプレイに付属のフロッピーディスクやCD-ROMを使うこともあります。フロッピーディスクを使用する場合、別売のUSB接続FDドライブユニット（CE-FD05）が必要です。

画面の表示先を切り替える

「画面のプロパティ」画面で表示先を切り替える

1 **[スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。**
「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（コントロールパネルの表示について ☞17 ページ）

3 **「画面」をクリックします。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 **「設定」タブをクリックし、[詳細設定] をクリックします。**

5 **「S3Display」タブをクリックし、表示したいディスプレイをクリックしてチェックマークを付けます。**
外部ディスプレイに表示するときは「CRT」、パソコンの内蔵ディスプレイに表示するときは「LCD」にチェックマークを付けます。
両方のディスプレイに表示させることもできます。

6 [OK] をクリックします。

7 確認画面で [OK] をクリックします。
画面の表示先が切り替わります。

8 確認画面で [はい] をクリックします。

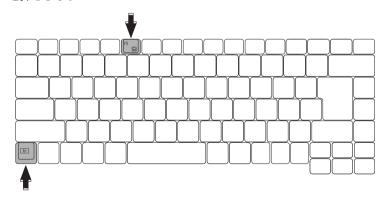
9 [OK] をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。

10 画面右上の ☒ をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。

ご参考

- 動画の再生中やゲームソフトの使用中は、表示モードが切り替わらないことがあります。
- パソコンのディスプレイと同時表示をするには、1024 x 768 ドット以上が表示可能なディスプレイが必要です。それ以外の外部ディスプレイでは、正常に表示されません。

キーボード操作で表示先を切り替える

表示させたい画面に切り替わるまで Fn キーを押しながらファンクションキーの F5（▭）キーを押します。

外部ディスプレイの解像度を変える

解像度や色数を変える（☞54 ページ）を参照してください。

CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを取り外す

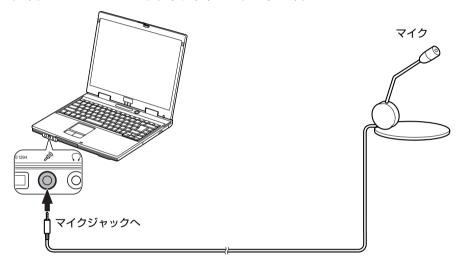
1 パソコンとディスプレイの電源を切ります。

2 パソコンからディスプレイケーブルを取り外します。

外部マイクから音声を入力する

付属（PC-FS2-C3M のみ）または市販の外部マイクを接続して、アナログ音声を入力できます。

接続できるマイクの仕様は次のとおりです。

プラグ形状	： 3.5mm ミニプラグ （ステレオミニプラグのモノラルマイクも使用できます。）
適合インピーダンス	： 1.5 k Ω～ 2.4 k Ω
電源電圧	： DC 2.5V
タイプ	： エレクトレットコンデンサマイク

マイクから音声を録音する

1 **[スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」ー「アクセサリ」ー「エンターテイメント」ー「サウンドレコーダー」をクリックします。**

サウンドレコーダーが起動します。

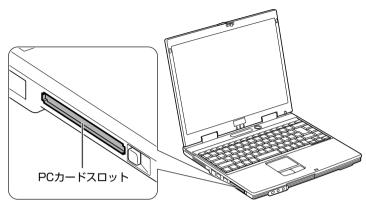
2 **録音を開始するには、 をクリックします。**

3 **録音を停止するには、 をクリックします。**

ご参考

- サウンドレコーダーの操作については、サウンドレコーダーのヘルプを参照してください。

PC カードを使う

PCカードをパソコンのPCカードスロットに差し込むと、周辺機器を接続したときと同じ役割をはたしたり、パソコン自体の機能を増やしたりすることができます。

このパソコンで使える PC カード

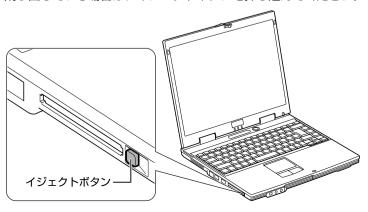
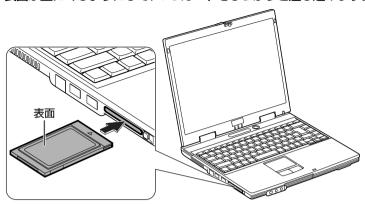
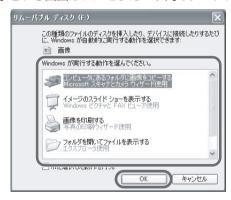
- PCMCIA Rel.2.1/JEIDA Ver 4.2 規格に準拠した Type II の PC カード
- CardBus 対応の PC カード

PC カードを差し込む

ご参考

- 電源を入れた状態で、PC カードを差し込むことができます。
- はじめて PC カードを差し込んだときは、対応するデバイスドライバが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、画面が表示されますので、画面の指示に従ってデバイスドライバをインストールしてください。

1 イジェクトボタンが飛び出していないことを確認します。

飛び出している場合は、イジェクトボタンを押し込んでください。

2 表面が上にくるようにして、PC カードをしっかりと差し込みます。

メモリカードを差し込んだ後に以下のような画面が表示されたときは、Windowsが実行する操作をクリックして選択し、[OK] をクリックします。
表示される画面は、メモリカード内のデータによって異なります。

PCカードを取り出す

取り出す前に、パソコンの操作で、PCカードの使用を停止する必要があります。

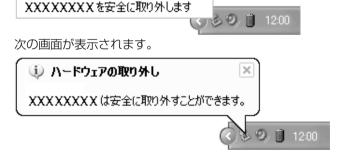
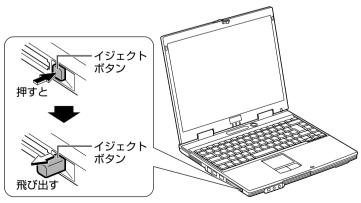
- 必ず下記の手順どおりに操作してPCカードを取り出してください。正しく操作して取り出さないと、カード内のデータが消えたり、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

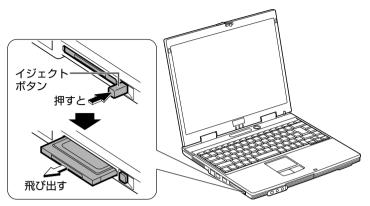
1 タスクバーの をクリックします。

タスクバーに が表示されていないときは

- タスクバーに表示されるアイコンが多くなると、自動的に隠れることがあります。そのときはタスクバーの をクリックすると隠れているアイコンが表示されます。

2 「XXXXXXXX を安全に取り外します」をクリックします。

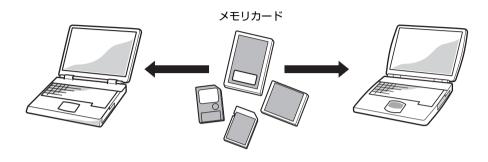
次の画面が表示されます。

3 イジェクトボタンを押して、ボタンを飛び出した状態にします。

4 飛び出したイジェクトボタンを押して、PC カードを取り出します。

ボタンを押し込むと、PC カードが少し出てきますので、引き出してください。

ご注意　PC カードは熱くなっていることがあります

- PCカードによっては、長時間使用した場合、熱くなるものがあります。取り出すときに注意してください。

5 イジェクトボタンが飛び出したままのときは、必ず元の位置まで押し込みます。

メモリカードを使う

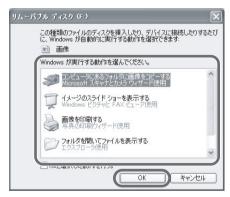
デジタルカメラで撮影した画像を取り込んだり、他のパソコンとデータをやりとりするためには、メモリカードを使用すると便利です。

メモリカードには、以下のような種類があります。

PC カード型メモリカード 	フラッシュメモリが内蔵されたカードです。フラッシュメモリとはROMと呼ばれる読み出し用メモリの一種で、電気的にデータの消去や書き込みができます。電源が供給されていなくても記録が消されることがないので、PC カード型メモリカードにデータを書き込めば、他のパソコンなどとデータをやりとりできます。
コンパクトフラッシュカード 	PC カード型メモリカードと同じく、フラッシュメモリが内蔵されたカードです。コンパクトフラッシュカードにデータを書き込めば、他のパソコンなどとデータをやりとりできます。
SD メモリカード 	SD メモリカードは松下電器産業(株)、(株)東芝、米SanDisk社の3社が共同開発した、小型のメモリカードです。
スマートメディア 	(株)東芝が開発し、富士写真フイルム(株)など5社が提唱するメモリカードです。スマートメディアはコンパクトフラッシュカードと並んで、デジタルカメラなどで使用されるメモリカードのひとつです。

このパソコンでメモリカードを使用するには

- PC カード型メモリカード　PC カードスロットに差し込みます。（☞101 ページ）
- コンパクトフラッシュカード　市販のコンパクトフラッシュカード用 PC カード型アダプタにセットして、PC カードスロットに差し込みます。（☞101 ページ）
- SD メモリカード　市販の SD カード用 PC カード型アダプタにセットして、PC カードスロットに差し込みます。（☞101 ページ）
- スマートメディア　市販のスマートメディア用 PC カード型アダプタにセットして、PCカードスロットに差し込みます。（☞101ページ）

メモリカードは、「マイコンピュータ」の中に、「リムーバブル記憶域があるデバイス」としてアイコンが表示されます。

メモリカードを差し込んだ後に以下のような画面が表示されたときは、Windowsが実行する動作をクリックして選択し、［OK］をクリックします。
表示される画面は、メモリカード内のデータによって異なります。

メモリを増設する

メモリを増やすと、パソコンが一時的に記憶するデータ容量を増やすことになります。その結果、大容量のデータを高速に処理できるようになったり、複数のアプリケーションソフトを起動しても、快適に操作できるようになります。
このパソコンには、あらかじめ256MB（メガバイト）のメモリが内蔵されています。市販の増設RAMボード（128MB、256MB、512MB）を取り付けて、メモリ容量を768MBまで増やすことができます。

取り付け可能な増設RAMボードについて

- 取り付け可能な増設RAMボードについては、お買いあげの販売店にお問い合わせいただくか、下記のメビウスのホームページを参照してください。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

増設RAMボードを取り付ける／取り外す

- RAMボードは静電気に非常に弱い部品です。そのため、身体に残った静電気などで破損することがあります。取り扱うときは、必ず次の事項を守ってください。
  - ・取り扱う前に、金属に触れるなどして身体の静電気を逃がしておく。
  - ・静電気の起きやすい場所（カーペットの上など）では、取り付け作業をしない。
  - ・RAMボードの端子部分は、手で触れない。
  - ・RAMボードを保管するときは、RAMボードを覆っていた静電気保護材、またはアルミ箔などの導電性の保護材で覆う。

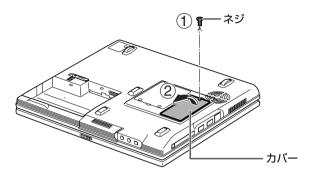
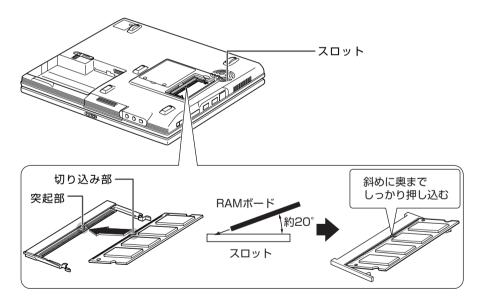
増設RAMボードを取り付ける

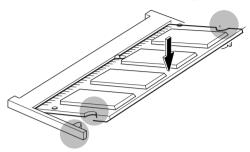
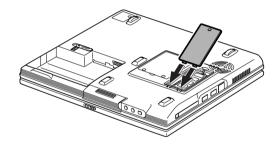
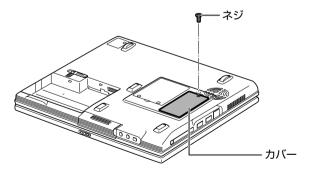
1 **パソコンの電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取り外します。**
バッテリパックの取り外し方については、**バッテリパックを交換する**（☞45ページ）を参照してください。

- 必ずパソコンの電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取り外してください。故障の原因になります。
- 長時間使用した直後は、パソコン内部が熱くなっていることがあります。温度が下がるのを待ってから取り付けてください。

2 カバーを取り外します。

① カバーのネジを外します。

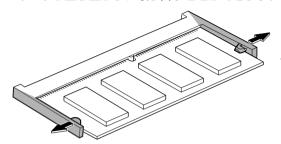
② カバーを取り外します。

3 RAM ボードの切り込み部をスロットの突起にあわせて、斜めに奥までしっかり押し込みます。

4 **RAM ボードの左右の切り込み部を、スロットの突起部に合わせて、ゆっくりと押し下げます。**

正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

5 **カバーの2箇所のツメをパソコンの切り込み部にはめ込み、しっかり奥まで押し込んでから、静かにカバーを元の位置に戻します。**

6 **カバーをネジで固定します。**

7 **バッテリパックと AC アダプタを取り付けます。**

取り付けが終わったら、電源を入れてメモリ容量を確認してください。

（メモリの容量を確認する ☞ 次ページ）

増設 RAM ボードを取り外す

増設 RAM ボードを取り付けるの手順**3**、**4**で、RAM ボードスロットの 2 つのツメを外側に開きます。
RAM ボードが立ち上がり、取り外すことができます。

メモリの容量を確認する

1 [スタート] をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。
「マイコンピュータ」画面が表示されます。

2 「システムのタスク」欄の「システム情報を表示する」をクリックします。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

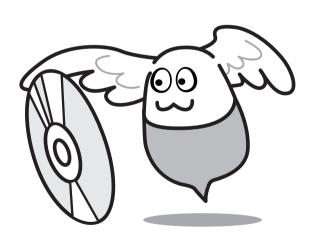
メモリ容量が表示されます。
表示されるのは、ビデオメモリとして使用される分（ご購入時の状態では16MB）を引いた値です。

3 [OK] をクリックして画面を閉じます。

4 画面右上の ☒ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。

活用編

パソコンで楽しもう

このパソコンで音楽を聴いたり、デジタルカメラで撮った画像をパソコンに取り込みたい・・・この章ではパソコンを使って楽しめるような活用例を紹介しています。

デジタルカメラの画像を取り込む

デジタルカメラで撮影してSDメモリカードなどに保存された画像データをパソコンに取り込むことができます。デジタルカメラの画像を取り込むには、次の方法があります。デジタルカメラによっては、この他にもデータを取り込む方法があります。詳しくは、デジタルカメラの説明書を参照してください。

- デジタルカメラのカードをパソコンにセットして取り込む
- デジタルカメラとパソコンをケーブルで接続して取り込む

デジタルカメラのカードをパソコンにセットして取り込む

市販のPCカードアダプタに、デジタルカメラのカードをセットして、PCカードアダプタをパソコンのPCカードスロットに差し込みます。

デジタルカメラとパソコンをケーブルで接続して取り込む

デジタルカメラにUSBコネクタがあるときは、USBケーブルを使ってデータを取り込むこともできます。ただし、データの取り込みには、専用のソフトウェアが必要な場合があります。

デジタルビデオカメラの映像を取り込む

このパソコンに搭載されているIEEE1394コネクタ（DVコネクタ）を使えば、デジタルビデオカメラから映像を取り込むことができます。
また、MegaVi DV2 LE（デジタルビデオ編集ソフト）を使えば、取り込んだ映像を簡単にデジタル編集できます。

接続可能なデジタルビデオカメラについて

- 市販されているすべてのデジタルビデオカメラと接続できるわけではありません。接続可能なデジタルビデオカメラについては、下記のメビウスのホームページを参照してください。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

取り込み／書き出しに失敗しないために

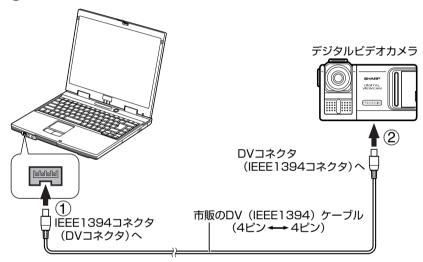
取り込み／書き出しが途中で不意に止まったりすることを避けるために、取り込み／書き出しの操作をする前に、次の準備をしてください。

- ACアダプタを接続する。
- 「電源オプションのプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（**消費電力を節約する** ☞47ページ）
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。（**スクリーンセーバーを変える** ☞57ページ）

- 取り込み／書き出し中は、操作ボタンやキーを押さないでください。

デジタルビデオカメラの映像を取り込む

1 **テープを再生できるモードで、デジタルビデオカメラの電源を入れます。**
デジタルビデオカメラには、あらかじめ撮影済みのDVテープを入れておいてください。

2 **パソコンとデジタルビデオカメラを接続します。**
① DV ケーブルのコネクタを、パソコンの IEEE1394 コネクタに差し込みます。
② もう一方のコネクタを、デジタルビデオカメラの DV コネクタに差し込みます。

3 **「デジタルビデオデバイス」画面が表示されたら、[キャンセル] をクリックします。**

4 **[スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」ー「JUSTSYSTEM アプリケーション」ー「MegaVi DV2」をクリックします。**
MegaVi DV2 LE が起動します。

ご参考

- 初回起動時のみ使用許諾契約書が表示されます。契約書の内容を読み、[はい] をクリックします。

5 **MegaVi DV2 LE を使って映像を取り込みます。**
映像の取り込み方法について詳しくは、MegaVi DV2 LEのオンラインマニュアルおよびヘルプを参照してください。

6 **映像の取り込みが終わったら、MegaVi DV2 LE の をクリックして PC モードに戻します。**

ご注意

- 次のことをする場合は、必ずPCモードにしてください。DVモードのままだと、正常に動作しなくなります。
  - ・デジタルビデオカメラの電源を切る。
  - ・DV ケーブルを取り外す。
  - ・DV テープを取り出す／交換する。

7 **デジタルビデオカメラの電源を切り、DV ケーブルを取り外します。**

映像の編集や書き出しの方法については、MegaVi DV2 LEのオンラインマニュアルおよびヘルプを参照してください。

ご参考

- 編集した映像は、次のファイル形式でビデオファイルに書き出すことはできません。
  - ・AVI：640 × 480, 29.97fps, Indeo_video 5
  - ・AVI：320 × 240, 29.97fps, Indeo_video 5
  - ・AVI：160 × 120, 15fps, Indeo_video 5

音楽を聴く

このパソコンで、音楽 CD を聴くことができます。

再生できるディスク

「COMPACT disc DIGITAL AUDIO」と表示されているディスクをお使いください。

音楽 CD を再生する

1 **音楽 CD をドライブにセットします。（ディスクをセットする ☞59 ページ）**

ディスクが認識されると（10 秒以上かかります）、Windows Media Player（ホームページ動画・音楽再生ソフト）が起動し、再生が始まります。

2 **再生が終了したら、画面右上の ☒ をクリックして Windows Media Player を閉じます。**

3 **音楽 CD を取り出します。（ディスクを取り出す ☞61 ページ）**

Windows Media Player の操作については

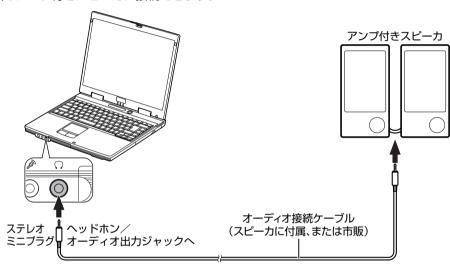
- Windows Media Player のヘルプを参照してください。
  ①Windows Media Player の上の ⊙ をクリックしてメニューバーを表示します。

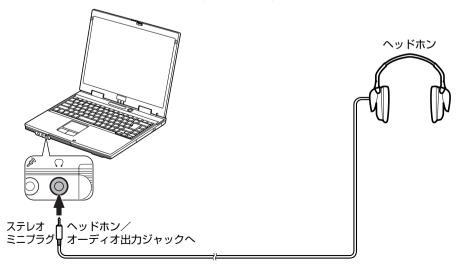
② メニューバーの「ヘルプ」をクリックし、「トピックの検索」をクリックします。

ご参考

- 音量の調節は、再生ソフトで調節する方法のほかに、キーボード操作やWindowsで調節する方法があります。詳しくは、**音量を調節する**（☞52 ページ）を参照してください。

外部スピーカに接続する

市販のアンプ付きスピーカに接続できます。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンは、インピーダンス 8 Ω以上（32 Ωを推奨）のものをお使いください。

DVD ビデオを見る

パソコンのディスプレイで DVD ビデオをお楽しみいただけます。

再生できるディスク

「DVD VIDEO」と表示されているディスクをお使いください。

DVD ビデオを再生するときの準備

再生の途中で不意に止まったりすることを避けるために、再生する前に、次の準備をしてください。

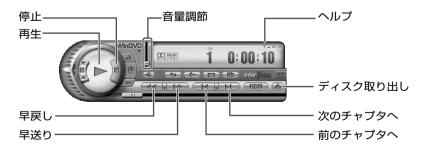
- AC アダプタを接続する。
- 「電源オプションのプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（**消費電力を節約する** ☞47 ページ）
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。（**スクリーンセーバーを変える** ☞57 ページ）

DVD ビデオを再生する

1 DVDビデオディスクをドライブにセットします。（ディスクをセットする ☞59ページ）

ディスクが認識されると（10秒以上かかります）、WinDVD（DVDプレーヤーソフト）が起動し、自動的に再生が始まります。

ご参考

- 両面が再生できる DVD の場合は、再生面の表記（Side A など）がある面を上にしてセットしてください。

2 再生が終了したら、画面右上の ☒ をクリックして WinDVD を閉じます。

3 DVD ビデオディスクを取り出します。（ディスクを取り出す ☞61 ページ）

ご参考

- WinDVD の操作については、画面右上の「?」をクリックして、ヘルプを参照してください。
- 音量の調節は、WinDVD で調節する方法のほかに、キーボード操作や Windows で調節する方法があります。詳しくは、**音量を調節する**(☞52 ページ)を参照してください。
- WinDVD 実行中に、表示先を切り替えたり、解像度や色数など画面表示に関する設定を変更しないでください。画像が乱れることがあります。

「WinDVD」をお使いのお客様へ

このパソコンは、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

登録特許番号

Apparatus Claims of U.S. Patent Nos. 4,631,603, 4,577,216, 4,819,098, and 4,907,093 licensed for limited viewing uses only.

DVD のリージョン番号について

DVD ビデオディスクには、リージョン番号(再生可能地域番号:2 ALL など)が設定されています。ご購入時の状態で再生が可能なのは、リージョン番号が「2」と「ALL」のディスクです。リージョン番号は DVD ビデオディスクに表示されています。国内で制作・販売されている DVD ビデオディスクを再生するときは、通常は設定を変更する必要はありませんが、変更できるのは4回までです。変更を必要とする場合は、WinDVDのヘルプを参照してください。

外部スピーカに接続する

外部スピーカを接続するときは、**外部スピーカに接続する**(☞117 ページ)を参照してください。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンで聴くときは、**ヘッドホンで聴く**（☞117 ページ）を参照してください。

「ドルビーヘッドホン機能」について

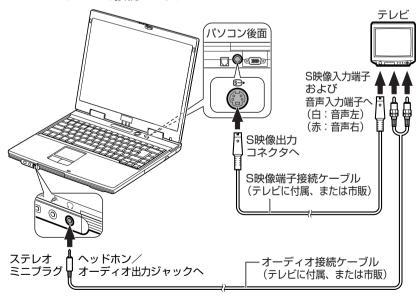
付属のWinDVDはドルビーヘッドホン機能を搭載しています。ドルビーヘッドホン機能を使うと、ドルビーデジタル5.1チャンネルの立体音響を、お使いのヘッドホンで体感できるようになります。ドルビーヘッドホン機能の使い方について詳しくは、WinDVDのヘルプを参照してください。

テレビで DVD ビデオを見る

S映像入力端子付きのテレビと接続し、テレビの大きな画面でDVDビデオをお楽しみいただけます。

テレビを接続する

1 パソコンとテレビの電源を切ります。

2 パソコンとテレビを接続します。

ご参考

- パソコンとテレビは直接接続してください。ビデオデッキなどを通して接続すると、画像が乱れることがあります。

3 **テレビの電源を入れます。**

4 **パソコンの電源を入れます。**

5 **[スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

6 **「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。**
「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（コントロールパネルの表示について ☞17 ページ）

7 **「画面解像度を変更する」をクリックします。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

8 **「画面の解像度」のつまみをドラッグして動かし「800 × 600」に設定し、 をクリックし「中 (16 ビット)」をクリックして選択します。**

ご参考

- テレビに表示するときは、解像度を 800 × 600、画面の色を 16 ビットに設定してください。それ以外の解像度と色を設定できますが、正常に表示されません。

9 「設定」タブをクリックし、[詳細設定] をクリックします。

10 「S3Display」タブをクリックし、「TV」をクリックしてチェックマークを付けます。

11 [OK] をクリックします。

12 確認画面で [OK] をクリックします。

テレビにパソコンの画面が表示されます。

13 確認画面で [はい] をクリックします。

14 [OK] をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。

15 画面右上の ☒ をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。

テレビを取り外す

1 パソコンとテレビの電源を切ります。

2 パソコンからS映像端子接続ケーブルおよびオーディオ接続ケーブルを取り外します。

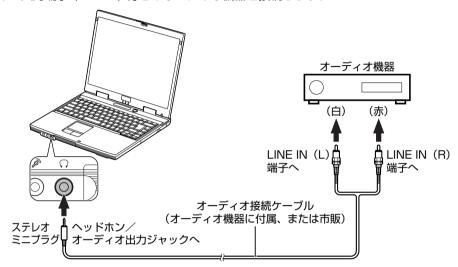
ご参考

- テレビを取り外した後は、**解像度や色数を変える**（☞54ページ）を参照して、画面の解像度と色を元の設定に戻してください。ご購入時は、解像度：1024×768、色：中（16ビット）に設定されています。

オーディオ機器に接続する

オーディオ機器にアナログ音声を出力することができます。

オーディオ機器にアナログ音声を出力する

ライン入力端子（LINE IN）付きのオーディオ機器と接続します。

自分だけのオリジナル音楽 CD を作る

付属の Drag'n Drop CD（CD ライティングソフト）を使って、シングル CD やアルバム CD など複数の音楽 CD からお気に入りの曲だけを 1 枚の CD-R にまとめて、自分だけのオリジナルアルバム CD を作ることができます。

書き込みに失敗しないために

書き込みが途中で不意に止まったりすることを避けるために、書き込みの操作をする前に、次の準備をしてください。

- AC アダプタを接続する。
- 「電源オプションのプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（**操作しないときスタンバイまたは休止状態にする** ☞48 ページ）
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。（**スクリーンセーバーを変える** ☞57 ページ）

- 書き込み中は、操作ボタンやキーを押さないでください。

ご参考

- 音楽CDを作成するときは、CD-RWではなくCD-Rをご使用になることをお勧めします。CD-RWで作成した音楽CDは、CD-RWに対応したプレーヤーでなければ再生することができません。また、プレーヤーによっては、CD-Rで作成した音楽CDでも再生できないことがあります。
- 動作確認済みの CD-R については、**CD・DVD を使う**（☞58 ページ）を参照してください。
- CD規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）の場合、音楽をハードディスクに読み込むことができません。CDのパッケージや印刷物をよくお読みの上、詳細については、CD の発売元へお問い合わせください。

1 **書き込みたい曲が入っている音楽CDをドライブにセットします。（ディスクをセットする ☞59 ページ）**

音楽CDが認識されると、Windows Media Player（ホームページ動画・音楽再生ソフト）が起動して、再生が始まります。

2 **画面右上の ☒ をクリックし、Windows Media Player を閉じます。**

2 **画面右上の ☒ をクリックし、Windows Media Player を閉じます。**

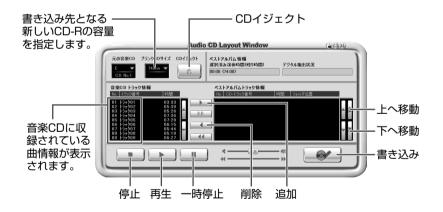
3 **[スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」−「Drag' n Drop CD」−「Drag' n Drop CD」をクリックします。**

Drag' n Drop CD が起動し、デスクトップ上に「Music」、「DISC Backup」、「Data」の3つのボックスが表示されます。

4 **[スタート] をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。**

「マイコンピュータ」画面が表示されます。

5 **「Audio CD」(または「音楽 CD」) と表示されているアイコンをデスクトップ上の「Music」ボックスにドラッグ & ドロップします。**

自動的に Audio CD Layout Window が表示され、音楽 CD に収録されている曲情報が「音楽 CD トラック情報」欄に表示されます。

表示されている曲情報の名前について

- 「トラック 01」が音楽 CD に収録されている 1 曲目を意味しています。

6 **「ブランク CD サイズ」欄の ▽ をクリックし、書き込み先となる新しい CD-R の容量を指定します。**

ブランクCDサイズ	21min	63min 74min	79min
必要なCD-Rの容量	185MB	650MB	700MB

7 「音楽 CD トラック情報」欄から書き込みたい曲をクリックして選曲します。

クリックすると色が変わります。クリックした曲を試聴したいときは［再生］（ ）をクリックします。

8 選曲し終わったら、［追加］（ ）をクリックします。

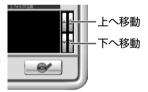
画面右の「ベストアルバムトラック情報」欄に選択した曲が表示されます。選択した曲が書き込むためのデータに変換されます。データ変換が終了するまでしばらく時間がかかります。

ご参考

- **別の音楽 CD から別の曲を書き込みたいときは**

  上記手順**8**でデータ変換終了後、CD ドライブから音楽 CD を取り出し、別の音楽 CD と入れ替えてセットします。しばらくすると「音楽 CD トラック情報」欄に音楽 CD に収録されている曲情報が表示されますので、上記手順**7**～**8**と同様の操作で書き込みたい曲を追加します。

- **書き込みたい曲の順番を入れ替えたいときは**

  入れ替えたい曲をクリックして選択し、［上へ移動］または［下へ移動］をクリックして順番を入れ替えることができます。（複数の曲を選んでも同様の方法で順番を入れ替えることができます。）

- **選んだ曲を削除したいときは**

  選曲をまちがえたり、書き込み先の容量を超えるような選曲をした場合は、不要な曲をクリックして選択し、［削除］（ ）をクリックしてください。

9 ［CD イジェクト］（ ）をクリックし、ドライブから音楽 CD を取り出し、新しい CD-R をセットします。

何か画面が表示されたときは、画面右上の ☒ をクリックして画面を閉じてください。

10 ［CD へ書き込み］（ ）をクリックします。

選択した曲の書き込みが開始され、Audio CD Layout Window が閉じます。

書き込み中はデスクトップ上の「Music」ボックスに「Writing」と表示され、書き込み状況が % で表示されます。

書き込みが終了すると、自動的にドライブが開きますので、ドライブからCD-Rを取り出してください。

パソコンを複数のユーザで使う

パソコンを複数のユーザで使うとき、ユーザごとの登録名(ユーザアカウント)を設定しておくと、画面デザインなどのデスクトップ環境やWebサイトのお気に入りなどの設定をユーザアカウントごとに保存できます。また、ユーザアカウントごとにパスワードを設定することもできます。

ようこそ画面

複数のユーザアカウントを設定すると、パソコンを起動したときなどに、ようこそ画面が表示され、パソコンを使用するユーザを選択してログオンできるようになります。ようこそ画面には、設定されているすべてのユーザアカウントが表示されます。

ユーザ名をクリックすると、そのユーザ専用のデスクトップ画面が表示されます。

ログオンとは

- パソコンを使用するための認証手続きのことです。設定しているユーザアカウントが一つで、パスワードを設定していない場合は、ログオンの操作は必要ないため、パソコン起動時には、ようこそ画面は表示されません。

ユーザアカウントにパスワードを設定している場合

ユーザ名をクリックすると、パスワードを入力するボックスが表示されます。パスワードを入力し、 をクリックすると、そのユーザ専用のデスクトップ画面が表示されます。(ユーザアカウントにパスワードを設定する ☞131 ページ)

パスワードを忘れてしまったときは

- パスワードを設定するときにヒントを設定しておくと、 をクリックしてヒントを表示することができます。また、あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておくと、パスワードを忘れてしまいログオンできなくなった場合、このディスクを使用して新しいパスワードを作成することができます。詳しくは、Windowsのヘルプを参照してください。

新しいユーザアカウントを設定する

ユーザアカウントには「コンピュータの管理者」と「制限付きアカウント」の 2 種類があります。「制限付きアカウント」の場合、他のユーザアカウントの設定を変更できない、アプリケーションソフトがインストールできないなどの制限があります。

ご参考

- 新しいユーザアカウントを設定するときは、「コンピュータの管理者」でログオンする必要があります。（Windows のセットアップ時に設定したユーザ名は、「コンピュータの管理者」のアカウントとして設定されています。）
- 「制限付きアカウント」の制限については、スタートメニューの「ヘルプとサポート」をクリックして表示されるヘルプ画面を参照してください。

1 **[スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「ユーザーアカウント」をクリックします。**
「ユーザーアカウント」画面が表示されます。
クリックして、「ユーザーアカウント」画面が表示されないときは、ダブルクリックして表示させてください。

3 **「新しいアカウントを作成する」をクリックします。**

4 **新しいアカウントの名前を入力し、[次へ] をクリックします。**

5 **アカウントの種類をクリックして選択し、[アカウントの作成] をクリックします。**
新しいユーザアカウントが設定されます。

6 **画面右上の ☒ をクリックして「ユーザーアカウント」画面を閉じます。**

7 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

パソコンを使用するユーザを変更する

複数のユーザアカウントを設定しているとき、パソコンを使用するユーザを変更するには、いったん使用中のユーザアカウントの作業を終了（ログオフ）する方法と、現在の作業状態はそのままで、別のユーザアカウントに切り替える方法とがあります。

作業中のユーザアカウントを終了（ログオフ）し、別のユーザアカウントでログオンする

1 **[スタート] をクリックし、「ログオフ」をクリックします。**
「Windows のログオフ」画面が表示されます。

2 **「ログオフ」をクリックします。**
現在使用中のユーザアカウントの作業を終了し、ようこそ画面が表示されます。

3 **ユーザ名をクリックします。**
パスワードを設定しているときは、パスワードを入力し、➡ をクリックしてください。
クリックしたユーザアカウントのデスクトップ画面が表示されます。

ユーザアカウントを切り替える

パソコン使用中に、ほかのユーザが一時的にパソコンを使用したいときは、現在の作業を一時中断してユーザアカウントを切り替えることができます。今までの作業状態はそのまま残っているので、再び元のユーザアカウントに切り替えると、すぐに作業を再開できます。

1 **[スタート] をクリックし、「ログオフ」をクリックします。**
「Windows のログオフ」画面が表示されます。

2 **「ユーザーの切り替え」をクリックします。**
ようこそ画面が表示されます。

3 **ユーザ名をクリックします。**
パスワードを設定しているときは、パスワードを入力し、➡ をクリックしてください。
クリックしたユーザアカウントのデスクトップ画面が表示されます。

ユーザアカウントを切り替えて使用しているときに Windows を終了すると

ユーザアカウントを切り替えて使用しているときは、「電源を切る」または「再起動」の操作をすると、「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています」と表示されます。この場合は、[いいえ] をクリックして、ログオンしているほかのユーザアカウントをログオフしてから、「電源を切る」または「再起動」の操作をしてください。

- 「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています」の画面で[はい]をクリックすると、保存していないデータは失われてしまいます。

ユーザアカウントにパスワードを設定する

他のユーザが自分のユーザアカウントでコンピュータを使用できないようにするために、パスワードを設定することができます。パスワードが設定されているユーザアカウントを使用するときは、ようこそ画面でパスワードの入力が必要になります。

パスワードを設定する

1 [スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「ユーザーアカウント」をクリックします。
「ユーザーアカウント」画面が表示されます。
クリックして、「ユーザーアカウント」画面が表示されないときは、ダブルクリックして表示させてください。

3 「コンピュータの管理者」でログオンしている場合は、パスワードを設定するアカウントをクリックします。
「制限付きアカウント」でログオンしている場合は、手順4に進みます。

4 「パスワードを作成する」をクリックします。
すでにパスワードを設定しているアカウントの場合は、「パスワードを作成する」は表示されません。

5 パスワードを入力します。
① 「新しいパスワードの入力」欄にパスワードを入力します。
② 「新しいパスワードの確認入力」欄に確認のため、もう一度同じパスワードを入力します。
③ 必要なら「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」欄にパスワードのヒントとなる言葉を入力します。
④ [パスワードの作成] をクリックします。

6 画面右上の ☒ をクリックして「ユーザーアカウント」画面を閉じます。

7 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

パスワードを変更する

1 [スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「ユーザーアカウント」をクリックします。

「ユーザーアカウント」画面が表示されます。

クリックして、「ユーザーアカウント」画面が表示されないときは、ダブルクリックして表示させてください。

3 「コンピュータの管理者」でログオンしている場合は、パスワードを変更するアカウントをクリックします。

「制限付きアカウント」でログオンしている場合は、手順 4 に進みます。

4 「パスワードを変更する」をクリックします。

パスワードを設定していない場合は、「パスワードを変更する」は表示されません。

5 パスワードを変更します。

① 「現在のパスワードの入力」欄に現在のパスワードを入力します。

「コンピュータの管理者」でログオンし、手順 **3** でパスワードを変更するアカウントに自分以外のアカウントを選択したときは、現在のパスワードの入力は不要です。

② 「新しいパスワードの入力」欄に新しいパスワードを入力します。

③ 「新しいパスワードの確認入力」欄に確認のため、もう一度同じパスワードを入力します。

④ 必要なら「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」欄にパスワードのヒントとなる言葉を入力します。

⑤ [パスワードの変更] をクリックします。

6 画面右上の ☒ をクリックして「ユーザーアカウント」画面を閉じます。

7 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

パスワードを削除する

1 [スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「ユーザーアカウント」をクリックします。

「ユーザーアカウント」画面が表示されます。

クリックして、「ユーザーアカウント」画面が表示されないときは、ダブルクリックして表示させてください。

3 「コンピュータの管理者」でログオンしている場合は、パスワードを削除するアカウントをクリックします。

「制限付きアカウント」でログオンしている場合は、手順 4 に進みます。

4 **「パスワードを削除する」をクリックします。**

パスワードを設定していない場合は、「パスワードを削除する」は表示されません。

5 **現在のパスワードを入力し、[パスワードの削除] をクリックします。**

「コンピュータの管理者」でログオンし、手順**3**でパスワードを削除するアカウントに自分以外のアカウントを選択したときは、現在のパスワードの入力は不要です。

6 **画面右上の ☒ をクリックして「ユーザーアカウント」画面を閉じます。**

7 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

万一に備えて

パソコンが動かなくなった、コンピュータウイルスに感染してしまった…そんなときのために大切なデータをバックアップする方法やコンピュータウイルスを予防・駆除する方法について説明しています。

大切なデータをバックアップする

パソコンを使っていくうちに、送受信した電子メールや作成した文書など、大切なデータがハードディスクの中に保存されていきます。データが読み出せなくなるなどの万一の場合に備えて、大切なデータは他の場所にもコピーしておきましょう。
データをコピーして他の場所に保存しておくことを、「バックアップ」といいます。
大切なデータは、日ごろからこまめにバックアップするようにしてください。

このパソコンのハードディスクには、Windows やアプリケーションソフトなどがインストールされているCドライブの他に、何もデータが入っていないDドライブが用意されています。大切なデータは、ひとまず D ドライブにバックアップしておきましょう。
Windowsの動作が不安定になるなどして再インストールする場合に、Cドライブの内容だけをご購入時の状態に復元すれば、Dドライブに保存されているデータは消さずに残すことができます。

ご注意

- D ドライブへのバックアップは、あくまでも一時的な対処法です。
  ハードディスク自体が故障してしまったときはDドライブの内容も読み出せなくなります。CD-R/RWやフロッピーディスクなどの記録メディアにもバックアップするようにしてください。
- ネットワークの設定などはファイルをコピーするだけではバックアップできません。必ずメモに控えておいてください。
- バックアップした後に、データの作成や編集をしたデータは、バックアップデータを戻して復元すると失われてしまいます。

D ドライブにフォルダを作成する

何のデータをバックアップしたかわかりやすく整理するために、バックアップをする前にあらかじめフォルダを作成しておきます。

1 **［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。**

2 **「ローカルディスク（D:）」アイコンをダブルクリックします。**

3 **「ファイルとフォルダのタスク」欄の「新しいフォルダを作成する」をクリックします。**
「新しいフォルダ」が作成されます。フォルダを作成した直後は、フォルダ名が青く反転されていて、名前を変更できる状態になっています。

4 **「マイドキュメント」と入力して、フォルダ名を変更します。**

5 **手順 3 と手順 4 を繰り返して、以下のフォルダをそれぞれ作成します。**
- 設定バックアップ
- IME

ファイルをバックアップする

ご購入時の状態では、アプリケーションソフトなどで作成した文書ファイルやデータファイルは、主に「マイドキュメント」フォルダ内に保存されるようになっています。（アプリケーションソフトによっては、他のフォルダにデータが保存されている場合もあります。）これらのデータを上記の手順**4**で作成したDドライブの「マイドキュメント」フォルダにコピーしてください。
ドラッグ&ドロップでファイルをフォルダへ移動させると、コピーできます。（パッド型ポインティングデバイスを使う ☞31 ページ）

インターネットの設定やメールのデータをバックアップする

ここでは「ファイルと設定の転送ウィザード」を使って次の設定やデータをバックアップします。

- ダイヤルアップの設定
- Internet Explorer のお気に入り
- Internet Explorer の設定
- Outlook Express の電子メール
- Outlook Express のアドレス帳
- Outlook Express のメールアカウント

1 **[スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」−「アクセサリ」−「システムツール」−「ファイルと設定の転送ウィザード」をクリックします。**

「ファイルと設定の転送ウィザード」画面が表示されます。

2 **[次へ] をクリックします。**

3 **「転送元の古いコンピュータ」をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。**

4 **「その他」をクリックして選択し、[参照] をクリックします。**

「フォルダの参照」画面が表示されます。

5 **「マイコンピュータ」をクリックします。**

6 **「ローカルディスク (D:)」をクリックします。**

7 **前ページの手順5で作成した「設定バックアップ」フォルダをクリックし、[OK]をクリックします。**

「ファイルと設定の転送ウィザード」画面に戻ります。

8 **[次へ] をクリックします。**

9 **「設定のみ」をクリックして選択し、「[次へ] をクリックしてから、ファイルと設定のカスタム一覧を選択する (上級者用)」をクリックしてチェックマークを付けます。**

10 [次へ] をクリックします。

11 「Internet Explorerの設定」と「Outlook Express」だけが表示されるようにします。

① 「Internet Explorer の設定」と「Outlook Express」以外の項目をクリックして選択します。

② [削除] をクリックします。

③ ①と②を繰り返して「Internet Explorer の設定」と「Outlook Express」以外の項目を削除します。

「Internet Explorer の設定」または「Outlook Express」を削除してしまったときは、[設定の追加] をクリックし、表示される画面で削除した内容を追加してください。

12 [次へ] をクリックします。

設定の収集が開始されます。

13 設定の収集が終わったら、[完了] をクリックします。

インターネットの設定やメールのデータを復元する

ここでは「ファイルと設定の転送ウィザード」を使ってバックアップした内容を復元します。

復元すると

- 「Internet Explorer の設定」は、現在の設定は消えてバックアップしたときの設定に戻ります。
- 「Outlook Expressの電子メール」と「Outlook Expressのメールアカウント」のデータは、現在のデータはそのまま残り、バックアップしているデータが追加されます。現在のデータとバックアップしているデータで同じデータがある場合、同じデータが複数存在することになります。
- 「Internet Explorer のお気に入り」と「Outlook Express のアドレス帳」のデータは、現在のデータはそのまま残り、バックアップしているデータの中で現在のデータにないものが追加されます。

1 [スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「ファイルと設定の転送ウィザード」をクリックします。

「ファイルと設定の転送ウィザード」画面が表示されます。

2 [次へ] をクリックします。

3 「転送先の新しいコンピュータ」を選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。

4 「ウィザードディスクは必要ありません。既に、古いコンピュータからファイルと設定を収集しました」をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。

5 「その他」をクリックして選択し、[参照] をクリックします。

「フォルダの参照」画面が表示されます。

6 「マイコンピュータ」をクリックします。

7 「ローカルディスク（D:)」をクリックします。

8 「設定バックアップ」 をクリックし、[OK] をクリックします。

「ファイルと設定の転送ウィザード」画面に戻ります。

9 [次へ] をクリックします。

ファイルと設定の転送が始まります。

10 [完了] をクリックします。

確認の画面が表示されます。

11 [はい] をクリックします。

ログオフします。

ネットワークの設定を控える

パソコンのネットワーク設定は以下の手順でメモに控えます。

1 [スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

「ネットワークとインターネット接続」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。（コントロールパネルの表示について ☞17 ページ）

3 「ネットワーク接続」をクリックします。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 **「ローカルエリア接続」をクリックして選択し、「ネットワークタスク」欄の「この接続の設定を変更する」をクリックします。**
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。

5 **「この接続は次の項目を使用します」欄に表示されている内容をメモに控えます。**

6 **「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をダブルクリックします。**
「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のプロパティ画面が表示されます。

7 **すべてのタブの設定内容をメモに控えます。**
［詳細設定］の内容も忘れずに控えてください。

8 **［キャンセル］をクリックして「インターネットプロトコル（TCP/IP）」画面を閉じます。**

9 **［キャンセル］をクリックして「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を閉じます。**

10 **画面右上の ☒ をクリックして「ネットワーク接続」画面を閉じます。**

IME のユーザ辞書をバックアップする

IME のユーザ辞書は、以下の手順でバックアップします。

1 **IME ツールバーの をクリックし、「辞書ツール」をクリックします。**
「Microsoft IME 辞書ツール」画面が表示されます。

2 **メニューバーの「ツール」をクリックし、「一覧の出力」をクリックします。**
「一覧の出力：単語一覧」画面が表示されます。

3 **保存場所を 137 ページの手順 5 で作成した「ローカルディスク（D:）」の「IME」フォルダにして、ファイル名を付けます。**

4 **［開く］をクリックします。**

5 **［終了］をクリックして「一覧の出力」画面を閉じます。**

6 **画面右上の ☒ をクリックして「Microsoft IME 辞書ツール」画面を閉じます。**

IME のユーザ辞書を復元する

バックアップした IME のユーザ辞書は、以下の手順で復元できます。

1 **IME ツールバーの をクリックし、「辞書ツール」をクリックします。**
「Microsoft IME 辞書ツール」画面が表示されます。

2 **メニューバーの「ツール」をクリックし、「テキストファイルからの登録」をクリックします。**
「テキストファイルからの登録」画面が表示されます。

3 **「ローカルディスク (D:)」の「IME」フォルダを選択し、[開く] をクリックします。**

4 **バックアップしたファイルをクリックして選択し、[開く] をクリックします。**

5 **[終了] をクリックして「テキストファイルからの登録」画面を閉じます。**

6 **画面右上の をクリックして「Microsoft IME 辞書ツール」画面を閉じます。**

コンピュータウイルスを予防する・駆除する

コンピュータウイルスとは、意図的に作成された悪質なプログラムの一種です。
お使いのパソコンがコンピュータウイルスに感染すると、ハードディスク内のデータが破壊されたり、外部からパソコンを操作されたり、コンピュータウイルスを添付したメールを勝手に送信するなど、さまざまな被害が生じます。
こういったコンピュータウイルスに感染しないように日ごろから感染の予防をしましょう。
また万一、感染した場合はすぐに駆除しましょう。

コンピュータウイルスの感染ルートについて

現在、コンピュータウイルスの主な感染ルートとしては次のようなものがあります。

- 電子メールの添付データ
- インターネット上からダウンロードされたファイル
- フロッピーディスクや CD-ROM などの記録メディア上のファイル

コンピュータウイルスからの感染を防ぐには

上記のような外部から取り込んだデータやファイルの中にコンピュータウイルスが存在している可能性があります。ただしハードディスクにダウンロードしたりするだけでは感染せず、ダブルクリックして開いたり、起動したりするとコンピュータウイルスのプログラムも同時に起動しパソコンに感染します。不審なデータやファイルを受け取ったときはむやみにダブルクリックして開いたり、起動したりしないで、検査することをお勧めします。
また日ごろからの予防策としては次のようなものがあります。

- 常に最新のコンピュータウイルス用の予防･駆除アプリケーションソフトをパソコン内に常駐させる
- 新種のコンピュータウイルスが発生した場合に備えて、定期的にコンピュータウイルス定義ファイル（DAT）とスキャンエンジンを更新する
- こまめに大切なデータをバックアップする
- 入手先のわからないフロッピーディスクや CD-ROM などをパソコンにセットしない
- コンピュータウイルス感染の可能性のあるファイルを扱うときは「マクロ機能の自動実行」をしない
  WordやExcelで作成されたファイルのマクロウイルス（マクロ命令で記述されたウイルス）が増えているので、文書ファイルを開くときにマクロ機能を無効にするソフトを、下記の マイクロソフト社のホームページからダウンロードして使う
  http://www.microsoft.com/japan/security/

万一コンピュータウイルスに感染してしまった場合

最新のコンピュータウイルス用の予防･駆除アプリケーションソフトなどを使って、駆除してください。IPA（情報処理振興事業協会）に報告をし、感染したと思われる日以降にデータやファイルなどを配付した送付先に報告してください。
最新のコンピュータウイルス用の予防･駆除アプリケーションソフトなどを使っていても駆除できなかった（被害があった）場合は、**CドライブとDドライブを再インストールする**（☞172ページ）の手順に従って、再インストールしてください。

IPA へのコンピュータウイルスの報告

コンピュータウイルスに感染したり発見したときは、駆除した後で、IPA セキュリティセンターにコンピュータウイルスの報告をするようにします。これは強制ではありませんが、社会の安全性の維持や感染被害の拡大と再発防止に役立てるための基礎資料となり得るものなので積極的に協力しましょう。
◎ IPA セキュリティセンター
http://www.ipa.go.jp/security/

コンピュータウイルスに感染していないか検査する

このパソコンにはコンピュータウィルスを検査･駆除するソフトとしてVirusScan（ウイルススキャン）がインストールされています。
VirusScan の主な機能には次のものがあります。

- **VirusScan**
  コンピュータウイルスに感染していないか検査し、感染していれば駆除します。
- **VShield**
  パソコンを使っている間、常にコンピュータウイルスの侵入を監視します。
- **VirusScan コンソール**
  VirusScanでできる一連の操作をあらかじめ登録しておき、実行したいときに実行することができます。また、スケジュールを設定して自動で実行させることもできます。

この説明書では次の方法について説明しています。

- VirusScan を使ってコンピュータウイルスに感染しているファイルがないかを調べる方法
- VShield を使ってコンピュータウイルスの侵入を監視する方法
- VirusScan コンソールのスケジュールを設定する方法

その他のVirusScanの詳しい説明などは、ハードディスクに保存されている**はじめにお読みください、スタートガイド、リリースガイド、ユーザーズガイド、管理者ガイド**を参照してください。

はじめにお読みくださいや各ガイドを表示するには

- ［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「Network Associates」の中から、表示したいガイドをクリックしてください。

VirusScan を使って検査する

VirusScan に必要なデータをアップデートする

VirusScan がコンピュータウイルスに感染しているファイルがないかを検査するときやコンピュータウイルスの侵入を監視するときは、スキャンエンジンがウイルス定義ファイル（DAT）に書かれているコンピュータウイルスの情報を元にコンピュータウイルスを探します。ウイルス定義ファイル（DAT）は、新しいコンピュータウイルスに対応するため定期的に更新されています。
このためウイルス定義ファイル（DAT）が古いままだと、新しいコンピュータウイルスを発見できない可能性があります。検査する前にウイルス定義ファイル（DAT）をアップデートしましょう。
また、より的確にコンピュータウイルスに対応するためにスキャンエンジンもアップデートすることをお勧めします。

スキャンエンジンのアップデートについて

スキャンエンジン（ウイルス検出エンジンSuperDAT）をアップデートするためには、McAfee VirusScanのユーザ登録が必要です。詳しくは［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「Network Associates」－「McAfee VirusScan ユーザー登録について」をクリックして表示される案内を参照してください。
なお、スキャンエンジンをアップデートできるのはユーザ登録してから180日間だけです。その後アップデートが必要な場合は、改めて VirusScan を購入してください。

ウイルス定義ファイル（DAT）をアップデートする

ウイルス定義ファイル（DAT）はインターネット上にあります。アップデートする前に、インターネットに接続できるようにしておいてください。
なお、最新のスキャンエンジンにアップデートしていないと、ウイルス定義ファイル（DAT）をアップデートできない場合があります。

1 ［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「Network Associates」－「VirusScan コンソール」をクリックします。

「VirusScan コンソール」画面が表示されます。「VirusScan コンソール」画面が表示されなかったときは、タスクバーの をダブルクリックしてください。

2 「DAT の自動アップデート」をクリックして選択し、「実行」をクリックします。

「Auto Update の状態」画面が表示され、アップデートの状態が表示されます。
アップデートが完了したら次の手順に進んでください。

3 [OK] をクリックして、「Auto Update の状態」画面を閉じます。

4 画面右上の ☒ をクリックして「VirusScan コンソール」画面を閉じます。

ご参考

- ウイルス定義ファイル（DAT）は頻繁にバージョンアップされています。
定期的にウイルス定義ファイル（DAT）を更新してください。
定期的にウイルス定義ファイル（DAT）を更新するときは VirusScan コンソールのスケジュール機能を使うと便利です。（**スケジュールを設定する** ☞150 ページ）

ハードディスク全体を検査する

このパソコンで電子メールの添付データを開いたり、インターネットからファイルをダウンロードしたり、フロッピーディスクやCD-ROMからデータをコピーしたりしたことがある場合は、このパソコンに保存されているファイルがコンピュータウイルスに感染している可能性があります。
感染している可能性がある場合は一度検査してみましょう。

1 [スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」－「Network Associates」－「McAfee VirusScan」をクリックします。

2 メニューバーの「ツール」をクリックし、「アドバンスド」をクリックします。

「アドバンスド」が表示されていない場合は、手順 **3** に進んでください。

3 [編集] をクリックします。

「スキャン項目の編集」画面が表示されます。

4 「スキャン対象」をクリックして選択します。

5 ▼ をクリックし、「すべてのハードディスク」をクリックして選択します。

6 [OK] をクリックして「スキャン項目の編集」画面を閉じます。

7 「スキャン対象」欄から「すべてのファイル」をクリックして選択し、[スキャン開始] をクリックします。

コンピュータウイルスに感染しているファイルがないかの検査が始まります。

コンピュータウイルスに感染しているファイルを発見したときは

コンピュータウイルスに感染しているファイルを発見したときは、感染しているファイル名やウイルスの名前などが表示されます。駆除してください。

このパソコンにウイルスが感染していないことを確認できたら、続いて**コンピュータウイルスの感染を予防する**（☞ 次ページ）に進みます。

コンピュータウイルスの感染を予防する

VShieldを使ってコンピュータウイルスの侵入を監視して、感染を予防することができます。コンピュータウイルスの侵入を常に監視したいときは、次の手順に従って操作してください。

1 [スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

2 「関連項目」欄の「コントロールパネルのその他のオプション」をクリックします。

「コントロールパネルのその他のオプション」画面が表示されます。

3 「VirusScan」をクリックします。

「McAfee VirusScan」画面が表示されます。

4 「コンポーネント」タブをクリックし、「オンアクセススキャナ」欄の「スタートアップ時にロードする」をクリックしてチェックマークを付けます。

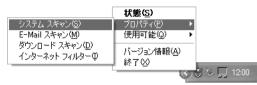
5 [OK] をクリックして「McAfee VirusScan」画面を閉じます。

6 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネルのその他のオプション」画面を閉じます。

7 [スタート] をクリックして、「終了オプション」をクリックします。

8 「再起動」をクリックします。

パソコンが再起動されます。

9 **タスクバーの を右クリックして「プロパティ」－「システムスキャン」をクリックします。**

「システムスキャンプロパティ」画面が表示されます。

10 **[ウィザード] をクリックします。**

「VShield 設定ウィザード」画面が表示されます。

11 **画面に従ってウィザードを完了させます。**

ウィザード内の項目についてはVirusScanのユーザーズガイドの「4 VShield 設定ウィザードの使用」を参照してください。

VirusScan のユーザーズガイドを表示するには

- [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」－「Network Associates」－「ユーザーズガイド」をクリックします。

12 **[OK] をクリックして「システムスキャンプロパティ」を閉じます。**

スケジュールを設定する

定期的にコンピュータウイルスのチェックやウイルス定義ファイル(DAT)を更新したいときは VirusScan コンソールのスケジュールを設定すると便利です。

スケジュールを設定する

ここでは、例として VirusScan コンソールにあらかじめ登録されている「DAT の自動アップデート」を定期的に実行するように設定します。

1 **[スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」ー「Network Associates」ー「VirusScan コンソール」をクリックします。**

「VirusScan コンソール」画面が表示されます。「VirusScan コンソール」画面が表示されなかったときは、タスクバーの をダブルクリックしてください。

2 **「DAT の自動アップデート」をクリックして選択し、「プロパティ」をクリックします。**

「タスクプロパティ」画面が表示されます。

3 **「スケジュール」タブをクリックします。**

4 **「スケジュール有効」をクリックしてチェックマークを付け、実行するタイミングをクリックして選択します。**

5 **開始時間を設定し、[OK] をクリックします。**

6 **画面右上の をクリックして「VirusScan コンソール」画面を閉じます。**

電源を入れると同時に VirusScan コンソールを有効にする

ご購入時の設定ではパソコンの電源を入れてもVirusScanコンソールは無効です。スケジュールを設定してもVirusScanコンソールが有効になっていなければ指定した時間になっても実行されません。スケジュールを設定しているときは、電源を入れると同時にVirusScanコンソールが有効になるようにしておきましょう。

1 ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

2 「関連項目」欄の「コントロールパネルのその他のオプション」をクリックします。

「コントロールパネルのその他のオプション」画面が表示されます。

3 「VirusScan」をクリックします。

「McAfee VirusScan」画面が表示されます。

4 「コンポーネント」タブをクリックし、「VirusScanコンソール」欄の「スタートアップ時にロードする」をクリックしてチェックマークを付けます。

5 ［OK］をクリックして「McAfee VirusScan」画面を閉じます。

6 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネルのその他のオプション」画面を閉じます。

パスワードを設定して使用できる人を制限する

パソコンの不正使用やデータの盗難を防止するために、パスワードを設定することができます。パスワードを設定しておくと、パソコン起動時にパスワード入力画面が表示され、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。

ここでは、セットアップユーティリティで設定するパスワードについて説明します。このパスワードを設定すると、パソコンの起動およびセットアップユーティリティの起動と変更を制限することができます。

ご参考

- セットアップユーティリティで設定するパスワードとは別に、Windowsのユーザアカウント毎にパスワードを設定することもできます。詳しくは、ユーザアカウントにパスワードを設定する（☞131 ページ）を参照してください。

パスワードを登録する

ご注意

- 必要のないときは、パスワードを設定しないでください。パスワードを忘れると、パソコンが起動できなくなります。

1 **パソコンの電源を入れます。**

2 **画面の左下に「Press F2 to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、[F2] キーを押します。**
セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **「Security」メニューをクリックし、「Set Password」をクリックします。**
パスワード入力画面が表示されます。

4 **「Enter New Password」で、パスワードを入力し、[Enter] キーを押します。**
数字キーロックモードは解除しておくことを、お勧めします。
パスワードは、8 文字までの半角英数字、および記号で設定してください。

5 **「Confirm New Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。**

6 **「Password on Boot」の左にチェックマーク（ √ ）が付いていることを確認します。**

7 **[OK] をクリックします。**

8 **「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」をクリックします。**

9 **「Save your changes and exit now?」と表示されたら、[OK] をクリックします。**
設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

パスワードを登録したパソコンを起動する

パスワードを登録したパソコンを起動するには、表示されるパスワード入力画面(下記)にパスワードを入力します。入力しないと、次の操作に進むことができません。

```
Enter Password : ........
```

パスワードの入力を間違えると、「Password Error」画面が表示されますので、[↵]キーを押してパスワードを再入力してください。パスワードの入力を3回間違えると、「The password is incorrect. System will be shut down.」と表示されます。このとき、[↵]キーを押すと電源が切れますので、その後10秒以上たってから、電源を入れ直してください。

パスワードを変更する／削除する

1 **パソコンの電源を入れます。**

2 **画面の左下に「Press F2 to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、[F2] キーを押します。**

3 **パスワードを入力し、[↵] キーを押します。**
セットアップユーティリティの画面が表示されます。

4 **「Security」メニューをクリックし、「Set Password」をクリックします。**
パスワード入力画面が表示されます。

5 **「Enter Current Password」で、現在のパスワードを入力し、[↵] キーを押します。**

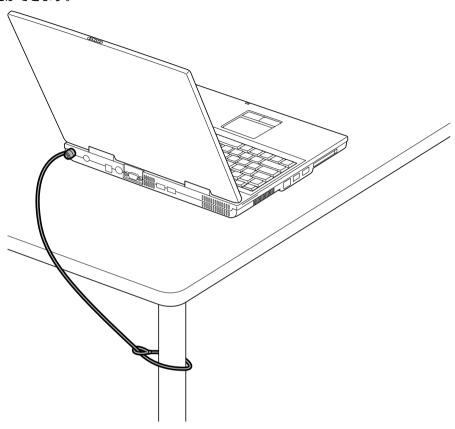
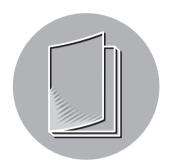
6 **「Enter New Password」で、新しいパスワードを 8 文字までの半角英数字、および記号で入力し、[↵] キーを押します。**
パスワードを削除するときは、何も入力せずに [↵] キーを押します。

7 **「Confirm New Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[↵] キーを押します。**
パスワードを削除するときは、何も入力せずに [↵] キーを押します。

8 **パスワードを変更したときは、「Password on Boot」の左にチェックマーク(√)が付いていることを確認します。**

9 **「パスワードを登録する」(☞ 前ページ) の手順 7 〜 9 までの作業をします。**

盗難を防止する

市販の盗難防止ロックを盗難防止ホール（ 🔒K ）につなぐと、パソコンを持ち運べないように固定することができます。

困ったときは

操作中にパソコンが動作しなくなったり、思った結果にならないときは「故障かな？と思ったら」をお読みください。また、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻す方法も紹介しています。

故障かな？と思ったら

“故障かな？”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。修理をご依頼になる前に、ここに記載されている内容をお確かめください。
トラブルによっては、パソコンの故障ではなく、Windows やアプリケーションソフト、または周辺機器に関するトラブルの場合もあります。ここに記載されている内容で問題が解決しなかった場合は、「Mebius Q&A」(別冊) を参照して、もう一度、内容をよくお確かめください。

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル …… 157
画面表示に関するトラブル …… 157
キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル …… 158
フロッピーディスクに関するトラブル …… 159
CD・DVD に関するトラブル …… 159
通信に関するトラブル …… 160
その他のトラブル …… 160

それでも問題が解決しないときは

一度パソコンのハードディスクを初期化して、改めてご購入時の状態に戻すこと（再インストール）をお勧めします。 詳しくは、ご購入時の状態に戻す（再インストール）（☞162ページ）を参照してください。

Windows 起動時(電源を入れたとき)のトラブル

? 「Replace the disk, and then press any key」と表示される

- フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされている場合は、フロッピーディスクを取り出し、何らかのキーを押してください。
- セットアップユーティリティ(☞177ページ)のMainメニューで「Boot Sequence」の設定で「Floppy Disk Drive」が一番上になってるか確認してください。

? フロッピーディスクから起動できない

- フロッピーディスクドライブが正しく接続されているか確認してください。
- フロッピーディスクドライブにセットしたフロッピーディスクが起動用かどうか確認してください。
- セットアップユーティリティ(☞177ページ)のMainメニューで「Boot Sequence」の設定で「Floppy Disk Drive」が一番上になってるか確認してください。

画面表示に関するトラブル

? Fn + F5 ( ) キーで画面が切り替わらない

- 動画の再生中やゲームソフトの起動時は、画面の表示先が切り替わらないことがあります。そのときは動画やゲームソフトを終了してください。
- Windows XP のコントロールパネルの「デスクトップの表示とテーマ」の「画面」で、表示先を切り替えてください。
- テレビ接続時は、 Fn + F5 ( )キー動作しません。

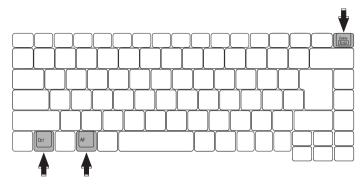
? テレビに何も表示されない/表示される画面が乱れる

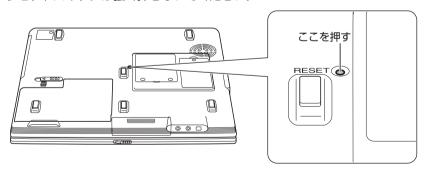
- テレビの電源が入っているか確認してください。
- テレビが正しく接続されているか確認してください。
- テレビを接続する(☞120ページ)の手順に従って表示先をテレビに変更してください。

キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル

? キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない

- 以下の手順に従って操作してください。

① **Ctrl** ＋ **Alt** ＋ **Delete** キーを押し、表示される画面の指示に従って操作してください。

② 上記の操作をしてもだめなときは、電源ボタンを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、その後 10 秒以上間隔をおいて再度電源を入れてください。

③ 上記の操作をしてもだめなときは、ハードディスクランプが点灯していないことを確認した上で、リセットスイッチを先のとがったもの（ボールペンなど）で押して電源を切り、その後 10 秒以上間隔をおいて電源を入れてください。リセットスイッチは強く押さないでください。

? パッド型ポインティングデバイスが正しく動作しない

- ポインティングデバイスのパッド面や手が、水や汗でぬれていないか確認してください。パッド面が汚れているときは、汚れを拭き取ってください。
- セットアップユーティリティ（☞177 ページ）の Advanced メニューで「Internal Pointing Device」に “ √ ” マークが付いているか確認してください。

フロッピーディスクに関するトラブル

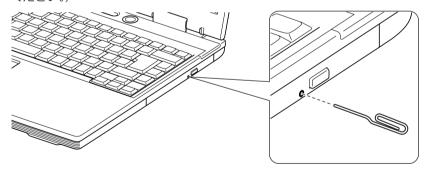
? 2DD（720KB）および2HD-1.2MB タイプのフロッピーディスクが使えない

2DD および 2HD-1.2MB タイプのフロッピーディスクには、次の制限があります。

- 2DD および 2HD-1.2MB タイプのディスクでは起動できません。
- 2DD および 2HD-1.2MB タイプのフロッピーディスクにはフォーマットできません。
- DISKCOPY などのコマンドは実行できません。
- データを保存するときや2HD-1.44MBのディスクを使用するコンピュータとデータをやりとりするときは使わないでください。
- 特殊なフォーマットタイプ(2HD-1.21MBタイプなど)のディスクに対しては読み書きできません。

CD・DVD に関するトラブル

? ドライブが開かない

- パソコンの電源が入っているか確認してください。
- パソコンの電源を切ってから、トレイにある丸いスイッチを先のとがったもの(クリップを伸ばしたようなもの)で押してください。（通常はこの方法で開けないでください。）

通信に関するトラブル

? 内蔵 LAN でハブに接続してもうまく使えない

- ネットワークの設定がネットワーク環境に合っていない可能性があります。下記の操作に従ってネットワークの設定を確かめてください。
  ① ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
  「コントロールパネル」画面が表示されます。
  ② 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
  「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリ表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
  （コントロールパネルの表示について ☞17 ページ）
  ③ 「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。
  「システムのプロパティ」画面が表示されます。
  ④ 「ハードウェア」タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックします。
  ⑤ 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「VIA PDI 10/100 Mb Fast Ethernet Adapter」をダブルクリックします。
  「VIA PDI 10/100 Mb Fast Ethernet Adapter のプロパティ」画面が表示されます。
  ⑥ 「詳細設定」タブをクリックし、「プロパティ」欄の「Connection Type」を選択します。
  ⑦ 「値」を使用する環境に合った値に変更します。
  ⑧ ［OK］をクリックして「デバイスマネージャ」画面に戻ります。
  ⑨ 画面右上の ☒ をクリックして「デバイスマネージャ」画面を閉じます。
  ⑩ 画面右上の ☒ をクリックして「システムのプロパティ」画面を閉じます。
  ⑪ 画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。

その他のトラブル

? 日本語の入力ができない

- **半角 / 全角・漢字** キーを押して、日本語入力システムがオンになっているか確認してください。
- Windows セットアップ時に「日付と通貨の表示方法を指定してください」の画面でキーボードの種類を「日本語」に設定してしまったときは、**半角 / 全角・漢字** キーを押しても日本語入力システムがオンになりません。
  次の手順に従って、キーボードの種類を「日本語（MS-IME2002）」に変更してください。
  ① **Alt** ＋ **半角 / 全角・漢字** キーを押します。
  ② IME ツールバーを右クリックし、「設定」をクリックします。

③「設定」タブの「既定の言語」欄で「日本語 -Microsoft IME Standard 2002」を選択します。

④［OK］をクリックして「テキストサービスと入力言語」画面を閉じます。

? 電源が切れない

- キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない（☞158 ページ）の操作をしてください。

? 日付や時刻が狂う／セットアップユーティリティの設定が消える

- 以下の手順に従って操作してください。

①［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

②「日付、時刻、地域と言語のオプション」をクリックします。
「日付、時刻、地域と言語のオプション」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。（コントロールパネルの表示について ☞17 ページ）

③「日付と時刻を変更する」をクリックします。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。

④ 日付や時刻を設定し、［OK］をクリックします。

⑤ 画面右上の ☒ をクリックして「日付、時刻、地域と言語のオプション」画面を閉じます。

⑥ セットアップユーティリティの内容を必要に応じて設定し直します。
ご購入時の状態でお使いになられていたときは、特に設定する必要はありません。セットアップユーティリティの設定方法については、セットアップユーティリティ（☞177 ページ）を参照してください。

- 上記の操作を行っても、繰り返し日付や時刻が狂ったり、セットアップユーティリティの設定が消えるときは、バックアップ電池がなくなっている可能性があります。バックアップ電池を交換する（☞184ページ）を参照して、新しい電池に交換してください。

ご購入時の状態に戻す（再インストール）

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す（再インストールする）方法について説明します。
このパソコンでは、あらかじめハードディスクドライブの中に保存されている再インストール用のデータを使って直接ハードディスクに再インストールすることができます。

ご注意

- 再インストールすると、ハードディスク内の C ドライブと D ドライブの内容はすべて消去されてしまいます。再インストールが必要かどうかよく確認してから始めてください。
- このパソコンには、あらかじめハードディスクドライブの中に再インストールに必要なデータが入っています。再インストール用のデータを変更したり、削除したりしないでください。再インストールができなくなります。

ご参考

- Mebius Q & A（別冊）および故障かな？と思ったら（☞156 ページ）に問題が起こったときの解決方法が書かれています。再インストールをする前に、あてはまる項目がないか調べてみてください。
- 再インストールをしても、ハードディスクドライブの中に保存されている再インストール用のデータはフォーマットされません。

再インストールの準備をする

大切なデータをバックアップする

再インストールすると、ご購入後にハードディスクに保存されたファイルや、インストールされたアプリケーションソフトなども消えてしまいます。大切なデータやインターネットなどの設定は、再インストールをする前に必ずバックアップしておいてください。（☞136ページ）

必要なものを準備する

説明書

- はじめにお読みください

Microsoft Office XP Personal パック

- 「Microsoft Office XP Personal」の CD-ROM
- 「Microsoft Office XP ツール CD」の CD-ROM
- セットアップガイド

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

再インストールをするときには、PowerQuest EasyRestoreを使用します。再インストールの前に、下記の「PowerQuest Corporationソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

PowerQuest Corporationソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下「契約書」）は、お客様とPowerQuest Corporationとの間に締結される法的な契約書です。同封のソフトウェアを使用することにより、本契約書の各条項に同意したことになります。本契約書で言う「ソフトウェア製品」とは、本契約書が添付されたCDやディスク媒体、またはネットワークからロードされるEasyRestoreソフトウェアを意味します。

1.　所有権

ソフトウェア製品はPowerQuest Corporation（以下「PowerQuest」）またはそのライセンサーが有するものであり、著作権法および国際条約の規定により保護されています。ソフトウェア製品、その複製物、修正物、構成部分についての権原および著作権は、PowerQuestまたはそのライセンサーに帰属します。

2.　ライセンスの許諾

本契約書はお客様に以下の権利を許諾します。
・ソフトウェア製品は、コンピュータシステムに既にインストールされているソフトウェアのバックアップ目的で作成されたイメージファイルに付属して提供され、当該イメージファイルを復元する目的にのみ使用することができます。
・ソフトウェア製品は、当該イメージファイルが付属して提供された特定のコンピュータシステムでのみ、使用することができます。

3.　使用制限

PowerQuestの許可なく、
(a) 本契約書で許諾された範囲を超えて、ソフトウェア製品の使用、複製、改造、修正してはならず、電子的または他の方法で転送することはできません。
(b) ソフトウェアを翻訳、リバースプログラム、逆アセンブルまたは逆コンパイル、またはその他の方法でリバースエンジニアリングすることはできません。

4.　技術サポート

ソフトウェア製品へのサポートは、PowerQuestおよび日本総代理店である(株)ネットジャパンが提供するものではありません。製品サポートに関しては、ソフトウェア製品をお客様に販売した供給者にお問い合わせください。

5.　アメリカ合衆国政府が制限されている権利

お客様が、アメリカ合衆国政府の省庁、またはその機関に代わってソフトウェア製品を取得する場合には、以下の規定が適用されます。
・ソフトウェア製品がプライベートな費用で開発されており、いかなる部分もパブリックドメインからの流用ではないこと。
・ソフトウェア製品が制限された権利と共に供給されていること。
・政府が使用、複製、または開示を行なう場合は、DFARS 第252.227-7013の条項に定める技術
データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利の補節 (c) (1)(ii)、また48 CFR 第52.227-19に定める商用コンピュータソフトウェアー制限された権利の補節 (c) (1) および(2)の規制に従うものとします。契約者／製造元は、PowerQuest Corporation / P.O.Box 1911 Orem, UTA 84059-1911です。

6.　限定保証

PowerQuestは、ソフトウェア製品について、お客様に直接に保証するものではありません。
PowerQuestは、ソフトウェア製品を販売した供給者に対して、ソフトウェア製品がドキュメントに従って動作することを保証してます。
ソフトウェア製品がドキュメントに従って動作しない場合にPowerQuestは修復し、当該供給者が修復後のソフトウェア製品を配布することを認めます。

7.　責任の制限

PowerQuestおよび供給者は、いかなる場合においても、ソフトウェア製品の使用または使用不能から生じるいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含むがこれらに限定されない）について、責任を負いません。例え、PowerQuestがかかる損害の可能性について通知を受けていた場合であっても、同様です。

本契約書は、対象条項に関するお客様とPowerQuest間の完全な合意を構成するものです。本契約書は、（法の抵触の諸原則以外は）ユタ州法を準拠法とします。

詳細：本使用許諾契約に関する質問がある場合は、PowerQuestか、日本総代理店である(株)ネットジャパン宛、書面にて連絡してください。

PowerQuest Corporation / P.O.Box 1911 Orem, UTA 84059-1911
（株）ネットジャパン／〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-18-3

パソコンを準備する

1 パソコンの電源が切れていることを確認します。

2 パソコンに周辺機器（USB機器、PCカードなど）が接続されている場合は、周辺機器を取り外します。

3 パソコンに AC アダプタを取り付けます。

- 必ずACアダプタは接続しておいてください。バッテリで操作していると、途中でバッテリ残量がなくなったとき、再インストールが完了できなくなります。

再インストールの手順を確認する

再インストールは、以下の手順でします。

Step1　再インストール用のデータを使って再インストールする

⇩

Step2　Windows をセットアップする

⇩

Step3　Office XP Personal パックの内容を再インストールする

⇩

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

再インストールする

C ドライブのみを再インストールする

ここでは D ドライブの内容はそのままにして、C ドライブのみをご購入時の状態に復元する方法を説明します。
この操作では、D ドライブおよび再インストール用のデータはフォーマットされません。

- 大切なデータは、再インストールをする前にCD-R/RWやフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

ご参考

- C ドライブと D ドライブをご購入時の状態に復元することもできます。C ドライブと D ドライブを再インストールする（☞172 ページ）を参照してください。

Step1　再インストール用のデータを使って再インストールする

1 **パソコンの電源を入れ、画面の左下に「Press F2 to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F11 キーを押します。**

2 次の画面が表示されたら、「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します（推奨）」が選択されていることを確認し、［⏎］キーを押します。

「終了します」を選択したときは

- 「終了します」を選択し、［⏎］キーを押すと、D:¥>が表示されます。電源ボタンを押して電源を切ってください。

3 ［↓］［↑］キーで「C：ドライブの復元を開始」を選択し、［⏎］キーを押します。

確認画面が表示されたときは、［いいえ］をクリックします。

C ドライブのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

フォーマットと復元が完了するまでに、約 10 分かかります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  フォーマット中および復元中に途中で中止してしまうとWindowsを起動できなくなります。
- 再インストール中に、「中止しても宜しいですか？」と表示されたときは、［いいえ］をクリックしてください。
- 万一、再インストールが正常に終了しなかったときは、再インストール用のデータが壊れている可能性があります。パソコン修理相談センター（お客様サポートシステムのご案内 ☞ 別冊）にお問い合わせください。

4 ハードディスクのリカバリ処理が終了すると、パソコンが再起動されます。

5 次の「Step2　Windows をセットアップする」に進みます。

Step2 Windows をセットアップする

しばらくすると「Windows XP のセットアップ」画面が表示されます。

1 **「はじめにお読みください」（別冊）の「Step3 Windowsのセットアップ」を参照して、Windows をセットアップします。**

ただし、セットアップ中のオンラインユーザ登録はする必要がありませんので、省略してください。

2 **次の「Step3 Office XP Personal パックの内容を再インストールする」に進みます。**

Step3 Office XP Personal パックの内容を再インストールする

1 **Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook、Microsoft IME をインストールします。**

① 「Microsoft Office XP Personal」の CD-ROM をドライブにセットします。
「Microsoft Office XP セットアップ」画面が表示されます。

② Office XP Personalパックに付属のセットアップガイドを参照してインストールします。
次の画面では、「完全」を選択してください。

2 Office XP Personal のインストールが完了し、パソコンを再起動後、Office XP Personal の音声認識機能、および「Web デバッグツール」を削除（アンインストール）します。

① ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

② 「プログラムの追加と削除」をクリックします。
「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。
クリックして「プログラムの追加と削除」画面が表示されないときは、ダブルクリックして表示させてください。

③ リストから、「Microsoft Office XP Personal」をクリックして選択し、［変更］をクリックします。

④ 「機能の追加／削除」が選択されていることを確認して、［次へ］をクリックします。

⑤ 「Microsoft Excel for Windows」の横にある ⊞ をクリックします。

⑥「読み上げ」の横にある をクリックし、「インストールしない」をクリックします。

が に変わります。

⑦「Microsoft Excel for Windows」の横にある をクリックします。

⑧「Office 共有機能」の横にある をクリックします。

⑨「入力システムの拡張」の横にある をクリックします。

⑩「音声」の横にある をクリックし、「インストールしない」をクリックします。
が に変わります。

⑪「Office 共有機能」の横にある をクリックします。

⑫「Office ツール」の横にある をクリックします。

⑬「HTML ソース編集」の横にある をクリックします。

⑭「Web スクリプト編集」の横にある をクリックします。

⑮「Web デバッグツール」の横にある をクリックし、「インストールしない」をクリックします。
が に変わります。

⑯［更新］をクリックします。

⑰「Microsoft Officeのインストールが正常にアップデートされました。」と表示されたら、［OK］をクリックします。

⑱［閉じる］をクリックして、「プログラムの追加と削除」画面を閉じます。

⑲ 画面右上の をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

3 Office XP Personal Service Pack 1 をインストールします。

① ［スタート］をクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

②「名前」欄に **c:¥oxpsp1¥sp1inst.htm** と入力し、［OK］をクリックします。
「Microsoft Office XP Service Pack1 インストールガイド」画面が表示されます。

③ 画面を下にスクロールし、表示されている内容をよく読みます。

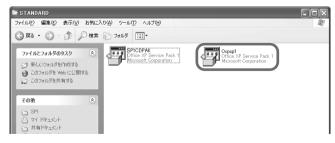
④「Office XP SP-1 概要」の「標準アップデート」の項目が表示されるまで画面をスクロールし、「1.」の「こちら」をクリックします。

⑤「SP1CDPAK」をダブルクリックします

「Office XP Service Pack 1」画面が表示されます。

⑥ **c:¥oxpsp1¥sp1¥standard** と入力し、[OK] をクリックします。

ファイルが展開されます。

⑦「Oxpsp1」をダブルクリックします

「Office XP Service Pack 1」画面が表示されます。

⑧ [はい] をクリックします。

⑨ 使用許諾契約書の内容をよく読み、[はい] をクリックします。

⑩「アップデートは正常に適用されました」と表示されたら、[OK] をクリックします。
⑪ 画面右上の ☒ をクリックして画面を閉じます。

4 Microsoft Bookshelf Basic をインストールします。

① ドライブのイジェクトボタンを押して「Microsoft Office XP Personal」の CD-ROM を取り出し、「Microsoft Office XP ツール CD」の CD-ROM をドライブにセットします。
「Microsoft office XP ツール CD ツールセットアップ」画面が表示されます。
②「Bookshelf Basic 3.0 のセットアップ」をクリックします。

③ 画面に表示される指示に従って、Microsoft Bookshelf Basicをインストールします。
次の画面では、「標準」を選択してください。

5 Microsoft Outlook Plus をインストールします。

① [スタート] をクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。
②「名前」欄に **e:¥offplus¥olplusj.exe** と入力し、[OK] をクリックします。
「Microsoft Outlook Plus! Version2.0 セットアップ」画面が表示されます。
③ [次へ] をクリックします。
④ 使用許諾契約書の内容をよく読み、「同意します」をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。
⑤ [次へ] をクリックします。
インストールが開始されます。
⑥ [完了] をクリックします。

6 **これで再インストールは完了です。ドライブのイジェクトボタンを押して「Microsoft Office XP ツール CD」の CD-ROM を取り出してください。**

ライセンス認証ウィザードについて

- 再インストール後、Microsoft Word、Microsoft Excel または Microsoft Outlook のいずれかを起動すると、「Office XP 使用許諾契約書」画面が表示されます。使用許諾契約書に同意すると、「Microsoft Office XP Personal ライセンス認証ウィザード」画面が表示されますので、このウィザードを使ってライセンス認証をしてください。詳しくは、Office XP Personal パックに付属のセットアップガイドを参照してください。

C ドライブと D ドライブを再インストールする

ここではC ドライブとD ドライブをフォーマットして、ご購入時の状態に復元する方法を説明します。C ドライブと D ドライブの内容はすべて削除されます。
この操作では、再インストール用のデータはフォーマットされません。

ご注意

- この操作では、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしているデータもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールをする前に CD-R/RW やフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

1 **パソコンの電源を入れ、画面の左下に「Press F2 to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F11 キーを押します。**

2 **次の画面が表示されたら、[↓][↑]キーで「C:ドライブとD:ドライブをご購入時の状態に復元します」を選択し、[⏎]キーを押します。**

モデルによって画面は異なります。

3 **[↓][↑]キーで「ハードディスクの復元を開始」を選択し、[⏎]キーを押します。**

確認画面が表示されたときは、［いいえ］をクリックします。

ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  フォーマット中および復元中に途中で中止してしまうとWindowsを起動できなくなります。
- 再インストール中に、「中止しても宜しいですか？」と表示されたときは、［いいえ］をクリックしてください。
- 万一、再インストールが正常に終了しなかったときは、再インストール用のデータが壊れている可能性があります。パソコン修理相談センター（お客様サポートシステムのご案内 ☞ 別冊）にお問い合わせください。

4 **ハードディスクのリカバリ処理が終了すると、パソコンが再起動されます。**

5 **167 ページの「Step2　Windows をセットアップする」に進みます。**

付録

セットアップユーティリティの設定内容や、パソコンに関する補足情報などについて紹介しています。また、「さくいん」から、操作説明を探すこともできます。

オリジナルの外字を使う

このパソコンには、あらかじめ筆王（はがき作成ソフト）用の外字が登録されています。外字エディタで作成したオリジナルの外字を利用するときは、以下の手順に従って筆王の外字フォントを解除してください。

筆王の外字フォントを解除する

1 **［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「筆王」－「外字フォントの登録と解除」をクリックします。**

「外字フォントの登録と解除」画面が表示されます。

2 **「筆王の外字フォントを解除する（登録する前の状態に戻す）」をクリックして選択し、［OK］をクリックします。**

3 **［はい］をクリックします。**

4 **［OK］をクリックします。**

「筆王」用の外字に戻すときは

上記手順**2**で「筆王の外字フォントを登録する」をクリックして選択し、［OK］をクリックします。

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、パソコンの動作環境に関する設定(接続した周辺機器の有効／無効、パスワードの設定など) を変更するためのユーティリティです。

セットアップユーティリティの内容は、ご購入時に適切に設定されています。必要なとき以外は操作しないでください。

セットアップユーティリティには、次のようなメニューがあります。

- Main メニュー
- Advanced メニュー
- Security メニュー
- Exit メニュー

ご参考

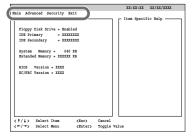
- 誤って変更してしまったときは、**すべての設定を初期値に戻す**(☞182ページ)の操作をしてください。

設定内容を変更する

1 **電源を入れます。**

2 **画面の左下に「Press F2 to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **設定したいメニューをクリックします。**

選んだメニューの設定項目が表示されます。

4 設定項目をクリックします。

```
 Date and Time
 Hard Disk Type
 Boot Sequence
√ Internal Numlock
√ USB Emulation
```

“ √ ” または “ __ ” マークのある項目は

クリックするたびに設定が切り替わります。

“ √ ”：有効

“ __ ”：無効

マークのない項目は

クリックすると、サブメニューが表示されます。

現在の設定には、“•”マークが付いています。他の値をクリックすると、“•”マークが移動します。設定したい値をクリックして “•” マークを移動し、[OK] をクリックします。

キーボードで操作するには

次のキーを押します。（画面の下段に操作案内が表示されています。）

メニュー表示時のキー操作

キー		説明
← →	：	メニューを選びます。
↓ ↑	：	項目を選びます。
⏎	：	設定を切り替えます。またはサブメニューを表示します。

サブメニュー表示時のキー操作

キー		説明
Tab	：	項目間を移動します。
↓ ↑	：	設定内容を変更します。（“•” マークが移動します。）
Esc	：	設定を取り消し、１ステップ前の状態に戻ります。
⏎	：	設定を保存し、メニューに戻ります。（ただし[Cancel]選択時を除く。）
0 ～ 9	：	日付や時刻を入力する。

5 「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」をクリックします。

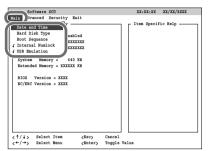
6 「Save your changes and exit now?」と表示されたら、[OK] をクリックます。

変更した内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

ご参考

- セットアップユーティリティの操作中は、省電力機能は働きません。ディスプレイを閉じないでください。

Main メニュー

日付と時刻、システム起動時にデータを読み取りに行く場所(デバイス)など、システムの基本的な設定項目があります。

Date and Time

時刻と日付を設定します。(24 時間制で 月／日／年、時／分／秒の順)

Hard Disk Type

ハードディスクのタイプを設定します。通常は「Ultra DMA-100」のままお使いください。

Boot Sequence

システム起動時に使用するデバイスの順序を設定します。

Hard Disk Drive ：ハードディスクドライブから起動
Floppy Disk Drive：フロッピーディスクドライブから起動
CD-ROM Drive ：CD-R/RW & DVD-ROM ドライブから起動

上にあるドライブの順からシステムを検索します。

Tab キーで変更したいデバイスを選択し、 **↑** キーと **↓** キーで順番を変更します。

Internal Numlock

Fn ＋ **Insert** (**NumLk**)キーを押したときに、内蔵キーボードを数字キーロックモードに切り替える／切り替えないを設定します。

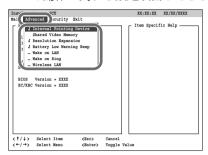
“ √ ” 表示時：切り替える　　“ _ ” 表示時：切り替えない

USB Emulation

Windows が起動していない状態で、USBキーボード、マウスおよびフロッピーディスクドライブを使用する／使用しないを設定します。

“ √ ” 表示時：使用する　　“ _ ” 表示時：使用しない

Advanced メニュー

パソコンの動作に関する設定項目があります。

Internal Pointing Device

パッド型ポインティングデバイスの有効／無効を設定します。

"√"表示時：有効にする　　"_"表示時：無効にする

Shared Video Memory

エクステンドメモリと共有するビデオメモリのサイズ(8M/16M/32M)を設定します。

Resolution Expansion（Windows XP 環境では無効）

640 x 480 および 800 x 600 ドット表示にしたときに、拡大して表示するか、拡大せずに中央に表示するかを設定します。

"√"表示時：拡大する　　"_"表示時：拡大しない

Battery Low Warning Beep

バッテリパックの容量が少なくなったときに、警告音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

"√"表示時：鳴らす　　"_"表示時：鳴らさない

Wake on LAN

内蔵LANインターフェースが起動用パケットを受信したときに、スタンバイから復帰させる／復帰させないを設定します。

"√"表示時：復帰させる　　"_"表示時：復帰させない

Wake on Ring

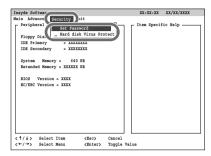
内蔵モデムに着信があったときに、スタンバイから復帰させる／復帰させないを設定します。

"√"表示時：復帰させる　　"_"表示時：復帰させない

Wireless LAN

※ Wireless LAN は、このパソコンでは機能しません。

Security メニュー

パスワードの登録など、パソコンの安全機能に関する設定項目があります。

Set Password

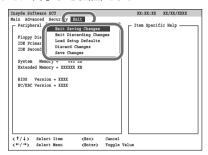
パスワードを登録します。 8 文字までの半角英数字および記号で設定してください。

Hard disk Virus Protect

ハードディスクのブートセクタへの書き込みを禁止する／禁止しないを設定します。ハードディスクのフォーマットや再インストールするときなどは、“ _ ”にしてください。

“ √ ”**表示時**：禁止する　　“ _ ”**表示時**：禁止しない

Exit メニュー

セットアップユーティリティの設定を、取り消す、初期値に戻す、設定内容に変更するなどを選んで、終了する画面です。

Exit Saving Changes
変更内容を保存して、セットアップユーテリティを終了します。

Exit Discarding Changes
変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了します。

Load Setup Defaults
セットアップユーティリティのすべての項目を初期値に戻します。

Discard Changes
セットアップユーティリティのすべての項目を前回保存した値に戻します。

Save Changes
変更内容を保存します。

すべての設定を初期値に戻す

1 **「Exit」メニューをクリックし、「Load Setup Defaults」をクリックします。**

2 **「Load the default settings now?」と表示されたら、[OK]をクリックします。**
すべての設定が初期値に戻ります。

3 **「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」をクリックします。**

4 **「Save your changes and exit now?」と表示されたら、[OK]をクリックします。**
設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windowsが起動します。

パソコンのお手入れ

お手入れをする際は、電源を切っておいてください。

キャビネット／通風孔

ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭きます。
通風孔にほこりなどが付着すると、本体の換気を妨げるおそれがあります。

ディスプレイ／パッド型ポインティングデバイス

ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、少量の中性洗剤を含ませて拭いてください。

- お手入れの際に、アルコール、ベンジン、シンナーなどの強い化学薬品やぬれぞうきんは使用しないでください。変形・変色の原因となります。

バックアップ電池を交換する

このパソコンには、バッテリ残量がなくなったときに備えて、セットアップユーティリティや日付・時刻などの情報を保持するためのバックアップ電池が装着されています。バックアップ電池がなくなった場合は、市販のリチウム電池（CR2032）と交換してください。

バックアップ電池交換時期について

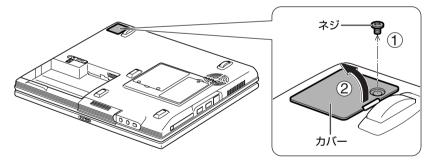
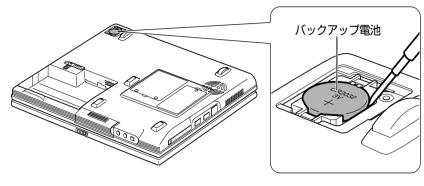
バックアップ電池がなくなると、日付や時刻が狂ったり、セットアップユーティリティの設定情報が消えてしまいます。
以下の手順に従って、バックアップ電池を交換してください。

1 パソコンの電源を切り、AC アダプタとバッテリパックを取り外します。

バッテリパックの取り外し方については、バッテリパックを交換する（☞45ページ）を参照してください。

- 必ずパソコンの電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取り外してください。故障の原因になります。

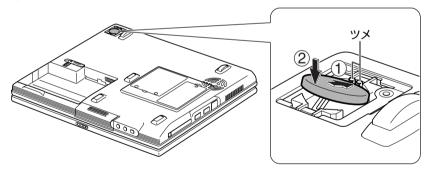
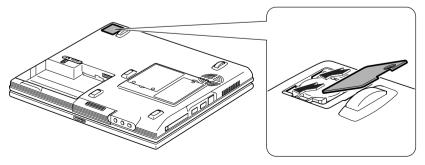
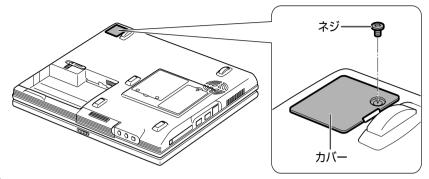
2 カバーを取り外します。

① カバーのネジを外します。
② カバーを取り外します。

3 先のとがったもので、バックアップ電池を取り出します。

ご注意

金属製のとがったものは、使用しないでください。周りの回路などに触れると、故障の原因になります。

4 ＋極（型番が記載されている面）を上にして、新しいバックアップ電池を取り付けます。

① 電池の縁でツメを押しながら、

② 電池を押し下げます。

5 カバーのツメをパソコンの切り込み部にはめ込み、カバーを元の位置に戻します。

6 **カバーをネジで固定します。**

7 **バッテリパックを取り付けます。**

バッテリパックの取り付け方については、バッテリパックを交換する（☞45 ページ）を参照してください。

8 **パソコンを表に返し、AC アダプタを接続します。**

9 **パソコンの電源を入れます。**

10 **画面の左下に「Press F2 to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

11 **設定を初期値に戻します。**

① 「Exit」メニューをクリックし、「Load Setup Defaults」（すべての項目を初期値に戻す）をクリックします。

② 確認顔面が表示されたら、［OK］をクリックします。

12 **「Main」メニューをクリックし、「Date and Time」をクリックします。**

日付と時刻の設定画面が表示されます。

13 **日付と時刻を設定し、［OK］をクリックします。**

14 **セットアップユーティリティの内容を必要に応じて設定し直します。**

ご購入時でお使いになられていたときは、特に設定する必要はありません。セットアップユーティリティの設定方法については、セットアップユーティリティ（☞177ページ）を参照してください。

15 **「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」をクリックします。**

16 **「Save your changes and exit now?」と表示されたら、［OK］をクリックします。**

設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

仕様一覧

ハードウェア

形名		PC-FS2-C3E	PC-FS2-C3M
CPU		モバイル AMD AthlonXP プロセッサ 1400+※1	
キャッシュメモリ		1次：128KB、2次：256KB（CPU内蔵）	
ROM		システムBIOS、VGA BIOS、Plug & Play対応BIOS	
RAM	メイン	256MB(標準)～768MB（最大）（SDRAM） (128MB/256MB/512MBのRAMボードを装着可能)※2	
	ビデオ	16MB（メインメモリを使用）※3	
表示機能	表示パネル	14.1型TFTカラー液晶（XGA対応）	15型TFTカラー液晶（XGA対応）
	表示コントローラ	S3Graphics社製ProSavage8（チップセットに内蔵）	
	グラフィック表示	800×600ドット/1024×768ドット、最大1677万色※4	
入力装置	キーボード	OADG仕様準拠90キー（106日本語キーボード準拠）	
	ポインティングデバイス	パッド型ポインティングデバイス（ホイール機能対応）	
ドライブ	ハードディスク	約30GB（エンハンスドIDE接続）※5	約40GB（エンハンスドIDE接続）※6
	CD-R/RW & DVD-ROM	CD-R書込　：最大24倍速　CD-RW書換：最大10倍速※7 CD読出　：最大24倍速　DVD読出　：最大8倍速 （バッファアンダーランエラー防止機能対応※8）	
PCカードスロット		Type II×1スロット（PCMCIA Rel.2.1/JEIDA Ver.4.2仕様準拠、CardBus対応）	
サウンド機能		サウンドシステム（AC'97準拠、3Dサウンド対応）、スピーカ（ステレオ）	
インタフェース	サウンド	ヘッドホン／オーディオ出力ジャック（ステレオ）、マイクジャック（モノラル）	
	表示	ディスプレイコネクタ、S映像出力コネクタ	
	その他	USBコネクタ×4（USB2.0対応x2、USB1.1対応x2）、IEEE1394コネクタ	
通信機能	モデム	最大通信速度：データ56,000bps（受信）、33,600bps（送信）（V.90規格準拠） 機器名：T60M099.01、認証番号：A01-0877JP	
	LAN	100BASE-TX/10BASE-T	
電源		ACアダプタ（100～240V、50/60Hz）、専用ニッケル水素バッテリパック	
消費電力		最大80W	
バッテリ駆動時間 （省電力機能の設定などにより変動）		JEITA測定法：約1.2時間	JEITA測定法：約1.1時間
バッテリ充電時間 （バッテリが空の状態から満充電になるまで）		電源オン時：約4.5時間※9　電源オフ時：約2.7時間※9	
使用環境	温度	10℃～35℃	
	湿度	20%～80%（非結露）	
外形寸法（突起部は除く）		幅330mm×奥行282mm×高さ29mm（最小）～39mm（最大）	
質量（ACアダプタ除く）		約3.4kg	約3.5kg

※1　AMD社が定めたQuantiSpeedアーキテクチャを採用したモバイルAMD AthlonXPプロセッサ1400+は、動作周波数1.2GHzで動作しておりますが、従来の設計に基づく1.4GHzのCPUに相当もしくはそれ以上の性能を有します。
※2　取り付け可能な増設RAMボードについては、下記のメビウスのホームページを参照してください。
http://support.sharp.co.jp/mebius/
※3　システムの設定により8MB/16MB/32MBに切替可能
（セットアップユーティリティのAdvancedメニューで「Shared Video Memory」の項目を変更します。）
※4　ディザリング機能により実現
※5　Windowsのシステムから認識できるドライブ全体の容量は約27.9GBになります。
ただし、ハードディスクの約3.1GBはリカバリ領域として使用していますので、ご使用できません。
※6　Windowsのシステムから認識できるドライブ全体の容量は約37.2GBになります。
ただし、ハードディスクの約3.1GBはリカバリ領域として使用していますので、ご使用できません。
※7　8倍速以上の速度での書き換えには、High Speed CD-RWメディアが必要です。

※ 8　CD-R/RW メディアへの記録中に、他のプログラムの割り込みなどが原因でデータ転送を妨げる場合に生じるバッファアンダーランエラーを防止するものです。

※ 9　長時間使用している場合など、バッテリパックの温度が高くなっているときや、パソコンの使用状況によっては、充電時間が長くなることがあります。

周辺機器（別売品）

- USB 接続 FD ドライブユニット CE-FD05
- ワイヤレス LAN カード CE-WC02
- ワイヤレス LAN ステーション CE-WA02

さくいん

記号・アルファベット

AC アダプタ 28
AC アダプタジャック .... 27、28
Caps Lock ランプ .... 25、37
CD（コンパクトディスク）
　入れ方 59
　お手入れ 63
　音楽 CD .... 116、125
　関連するトラブル 159
　出し方 61
　取り扱い 62
CD-R/RW
　CD-R .... 58、125
　CD-RW 58
　お手入れ 63
　関連するトラブル 159
　動作確認済みディスク 58
CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ
　........ 26、58、116、118、125
CD/DVD ランプ .... 25、59
CF カード
　........「コンパクトフラッシュカード」参照
CRT ディスプレイ 96
DVD
　DVD-ROM 58
　DVD-ROM ドライブ
　....「CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ」参照
　DVD ビデオ 118
　入れ方 59
　お手入れ 63
　関連するトラブル 159
　再生する 118
　出し方 61
　取り扱い 62
　ドルビーヘッドフォン 120
　リージョン番号 119
FD ....「フロッピーディスク」参照
IEEE1394 コネクタ .... 24、92
LAN ケーブル 73
LAN ジャック .... 26、73
Num Lock ランプ .... 25、36
PC カード
　PCMCIA 101
　PC カード型アダプタ 106
　PC カードスロット .... 26、101
　差し込む 101
　取り出す 103
RAM ボード 107
Scroll Lock ランプ .... 25、38
SD メモリカード .... 105、106
S 映像出力コネクタ .... 27、120
TFT カラー液晶パネル 7
USB コネクタ .... 26、27、90
VirusScan .... 144、145
Windows 起動時のトラブル 157

ア行

アナログ音声の入力 100
アナログ回線 ....「一般電話回線」参照
アンプ付きスピーカ 117
一般電話回線 70
色数 54
印刷する 94
インストール
　ディスプレイドライバ 96
　デバイスドライバ 88
　プリンタドライバ 94
お手入れ
　CD（コンパクトディスク） 63
　パソコン 183
音楽 CD
　オリジナル音楽 CD を作る 125
　再生する 116

音声を入力する
アナログ音声入力 100
外部マイクから 100
音量調節
Windows 53
Windows Media Player 116
WinDVD 118
キーボード操作 52

カ行

解像度 54
外部ディスプレイ 96
書き込み禁止タブ 64
壁紙 56
画面 「ディスプレイ」参照
キーボード
関連するトラブル 158
使う 35
休止状態 48
クリック 32、33
コア 70
コネクタの形状 88
コンパクトディスク 「CD」参照
コンパクトフラッシュカード 105、106
コンピュータウイルス 143

サ行

再インストール 162
周辺機器 88
省電力機能 47
初期値に戻す 182
数字キーロックモード 35
スクリーンセーバー 57
スクロール 34
スタンバイ 48
スピーカ
アンプ付きスピーカ 117
外部スピーカ 117
スピーカ 24
スマートメディア 105、106
セットアップユーティリティ 177
増設 RAM ボード 107

タ行

ダブルクリック 32、33
通信
LAN 73
関連するトラブル 160
通風孔 6、26、27、183
ディスプレイ
明るさを変える 54
色数を変える 54
解像度を変える 54
壁紙を変える 56
スクリーンセーバーを変える 57
画面表示に関するトラブル 157
ディスプレイコネクタ 27、96
ディスプレイドライバ 96
表示先を切り替える 97
データ
CD-R/RW に書き込む 125
取り込む 105、112、113
バックアップ 136
フロッピーディスクに保存 66
デジタル
デジタルカメラ 112
デジタルビデオカメラ 113
デバイスドライバ 88
テレビ
接続する 120
テンキーロックモード
「数字キーロックモード」参照

電源
　入れたときのトラブル……157
　入れる……28
　切る……30
　省電力機能……47
　ボタン……24、29
　ランプ……24、29
電話回線……70
盗難防止ホール……27、154
ドラッグ……32、33
ドラッグ＆ドロップ……32、33
ドルビーヘッドホン……120

ナ行

日本語入力システム……35
ネットワーク（LAN）……73

ハ行

ハードディスク
　電源を切る……47
　ハードディスクランプ……25
パスワード
　パソコン起動時用……152
　ユーザアカウント……131
バックアップ
　IME のユーザ辞書……141
　Internet Explorer……138
　Outlook Express……138
　お気に入り……138
　ダイアルアップの設定……138
　ネットワークの設定……140
　ファイル……137
バックアップ電池
　交換する……184
バッテリ警告音……42
バッテリ状態ランプ……24、40
バッテリパック
　交換する……45
　残量確認……41
　充電する……40
　初期化する……44
パッド……24、31
パッド型ポインティングデバイス
　関連するトラブル……158
　使う……31
ハブ（LAN）……73
ビデオカメラ……113
フォーマット
　フロッピーディスク……67
プリンタ
　接続する……94
　プリンタドライバ……94
ブロードバンドチェンジャー……83
プロジェクタ……96
フロッピーディスク
　USB 接続 FD ドライブユニット……65
　関連するトラブル……159
　初期化する……67
　取り扱いについて……68
　フォーマット……67
　フロッピーディスクドライブ……65
　保存する……66
ヘッドホン……117
ヘッドホン／オーディオ出力ジャック
　……24、117、120、124
ポインタ……31
ポインティングデバイス
　……「パッド型ポインティングデバイス」参照
ポイントする……31

マ行

マイク
　外部マイク……100
　マイクジャック……24、100

右クリック 32
メモリ
　増設する 107
　容量の確認 110
メモリカード 105
文字入力 35
モジュラージャック 70
モデム 70
モデムジャック .... 27、70

ヤ行

ユーザアカウント 128
ようこそ画面 128

ラ行

リージョン番号 119
リカバリ .... 「再インストール」参照
リセットスイッチ .... 27、158
冷却ファン 27
録音
　マイクから 100
ログオフ 130
ログオン 128

ワ行

ワイヤレス LAN カード 75
ワイヤレス LAN ステーション 75

● メビウスホームページ

http://www.sharp.co.jp/mebius/

インターネットをご利用の方は、上記のホームページもご活用ください。
「メビウスホームページ」では、商品情報やQ&A、周辺機器情報、
ダウンロード情報など、役立つ情報を掲載しています。

● 製品についてのお問い合わせ、修理のご相談は・・

別冊の「お客様サポートシステムのご案内」をご覧ください。

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報システム事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

この説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。